福島案内

186-285
1200800034483

福島案内

福島市役所

福島案内目次

○福島市街地圖……一
○福島市の位置……一
○福島市の沿革……四
○福島市の戸口……四
○福島市の交通……四
○福島市の基礎……五
○福島市の本領……五
○福島市の要所……六
○福島の產物……九
○金融……一〇
○農業……一〇
○福島商業會議所……一〇
○商工業會社……一〇
○市場……一六
○保險會社……一七
○病院……一九
○新聞發行所……一九
○諸官衙公署……二二
○公會堂……二二
○救濟……二三
○諸銀行……二四
○金融機關の會社……二六
○諸學校……二六

186-285
大正 9.6.24 内交

○福島市の圖書館……二八
○橋梁……二八
○公園……二九
○公認競馬場……二九
○基督教會……二九
○神社……三〇
○寺院……三二
○佛堂……三五
○附近の名所古跡……三六
○附錄……四五

福島市の位置

福島市の位置　福島縣の北端宮城、山形兩縣に境し信夫郡の東部に位し東方阿武隈川を挾みて渡利村と相對す南及び西の二面は土地平坦して田園相連り遠く吾妻小富士を望み北は信夫山を隔てゝ伊達郡の平野に連れり市街の廣袤東西十八丁南北二十九丁恰も三角形の一好區袤を劃す之を福島市と云ふ縣廳の所在地なり。

往古此信夫の國　（後年割きて伊達郡を置くと傳ふ）と稱し信夫の里、信夫の浦、信夫の峯、信夫の渡、或は信夫絹信夫摺等を以て世に著はれ幾多歌人の顯詠に上りしもの少なからす

西北は沃野漠々として拓け東南は岡陵蜿蜒として達る國道中央を通し加ふるに鐵道東北本線は東都上野に起り市の西端を通過し岩沼にて常磐線を合せ仙臺盛岡を徑て青森に至り又奥羽線は此地より分岐し山形、秋田を經て本線と合し交通至便人家稠密市街殷盛にして物資は豐祐なり人呼んで東北の咽喉と云ふ亦所以なきにあらす。

福島市の沿革

上古の福島　上古此地方は信夫國（又志乃不とも作る）と稱し伊達郡は後年之を割きて置きしものなりと云ふ又住吉信夫を篠生とも書けり开は太古此地が湖沼なりしを後水洩れて陸となり篠蕩の名所に發生せしよ

り名つけしと傳ふ。

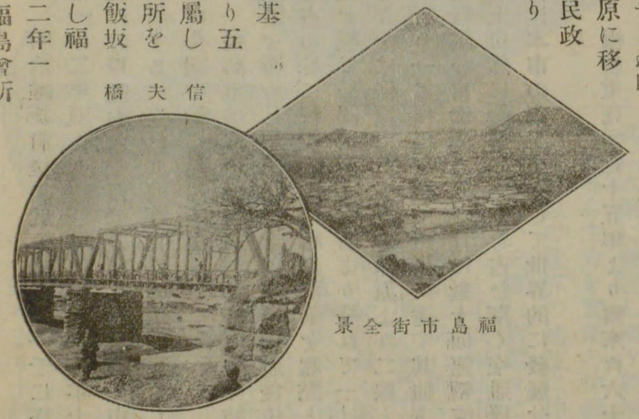
此湖沼の事實は數多の古書にも見へ又口碑傳說にも傳ほる五十邊の觀音窟上保原業師窟等に波濤の痕あるに徵しても明かなるに似たり斯く此地湖沼たりしを後年水洩れて陸となりしに就き一說には日本武尊峽を毀けて海に注ぎしと云ひ物茂郷は之を龍熊の闘に因ると譬ふ何れか眞なるやを知らず。

近世の福島　福島市附近の地を古來杉目（又杉妻）と稱せり治承養和の頃杉目大郎行信の來地なりしに因り居城も亦杉目城と呼びたり然るに天正十八年蒲生氏の將木村重次が大森より當地に移り始めて福島城と改めしと云ふ。

左れど福島の地名は猶ほ以前より之ありしは言ふ迄もなし而して福島の名稱に就き一說に福島は元吹島と言ひしを後年吹を福に改めしなりと、蓋し吹島とは往年此地湖沼たりしとき今の信夫山が湖中の一孤島にて朝夕吾妻をろしに吹かれしより斯く名つけしならんと又一說に福島は元低島と云ひたりと惟ふに低島は高島に對しての稱呼にて其所謂比較上の高島とは吾妻山脈の高峯を指せしならん。

开は兎に角木村重次が入城してより戸口年々に增殖して街衢漸次繁榮を呈せるも猶ほ一小驛市に過ぎず驛路は今の松川より永井川を經て來たりしものなりと其後上杉氏の所領となり同しく城代を置きしが慶長元和の頃より南羽各藩の諸侯江戸參勤始まり漸次驛路の往來頻繁となり要所に驛遞局屋を置き行李小荷駄の、運送頗る忙はしきものありしと云ふ上杉氏の所領に次き本多、堀田の諸侯就封し或は此間三たび幕領となりたり而して諸侯在城の時は福島町と稱し德川氏領の折は福島村と呼べり斯く幾

多變遷ありし後信達兩郡の地は各列藩の分有となり福島城は元祿十五年十二月板倉重寬小祿を以て信州坂本より移され爾來百六十六年同氏累代の居城地たり板倉氏十一代の孫勝尙明治戊辰の役に座し削封地所替を命ぜられ明治二年二月三州重原に移さる斯くて當地は民政取締所の支配となり續いて福島縣を置かれ四年十一月二本松縣に併せられしも再び福島縣と改められ爾來一縣の首府として漸次發展基礎を固むるに至れり五年六月第一大區に屬し七年一月福島區會所を置かる八年十二月飯坂　橋　信夫大森の兩會所を廢し福島會所に合併す十二年一月郡區改正に依り福島會所を信夫郡役所とし戸長區域を設く二十二年四月市町村制實施に際し町村制を布き町役場を設く二宮直躬、長尾兵次郎、鐸木三郎兵衛、小郷武、



福島市街全景

高木善助、町長に就職せり。

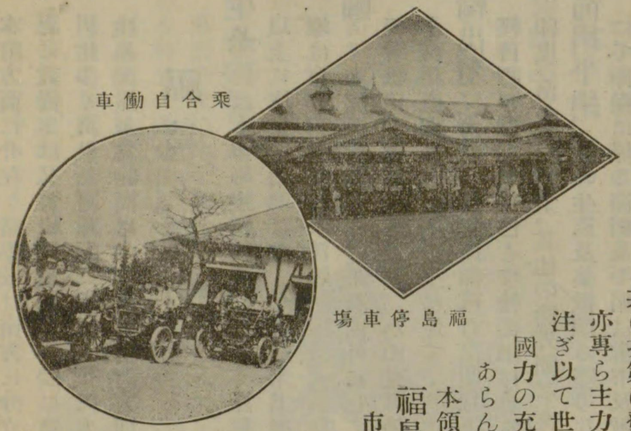
四十年四月一日市制を實施し市役所を開くに迫ひ二宮哲三市長に擧けらる其後任期滿ち再選せられ以て今日に至れり。

福島市の戸口　明治維新前後に於ては戸數一千に滿たざりしも同十一、二年頃より頓に增加し大正八年十二月の調査に依れば戸數約六千百、人口凡參萬六千市勢年を逐ふて發展するに至れり何等特殊の事情なくして斯く增加せしは全國中稀に見る所なり。

福島市の交通　福島市は古來三陸兩羽二方面の分岐點にして交通頻繁を極めしか明治二十年鐵道開通後依然要衝の地點を占め殊に輕便鐵道は福島驛前を起點とし鎌田、瀨の上を經て長岡に至り同所より分れて一は湯野、飯坂に行き一は保原に出て更に保原より二線となり一は梁川に行き一は掛田を經て川俣に達す其他主として飯坂方面行乘合自働車ありて日に數十回運轉す故に物資の集散上自然に優秀の地位を占む斯く交通機關は相依り相扶け本市の商工業をして世界的に發展せしめんとす。

福島市の基礎　板倉重寛元錄十五年より爾來凡六十六年間同氏累代の居城となり其後幾はくならずして當城は廢毀せられしと雖も板倉氏在城中特に商工業の基礎を立てられしのみならず累代父祖の遺業を承け地方の爲め特に保護經營する所ありしを以て後來福島の進歩發達すべき基礎は益々鞏固となれり。

福島市の本領　福島市は由來蠶業の先進地を以て世に稱せらるゝ左れと其主產地は福島を中心とせる信夫伊達、安達の諸郡なゝを以て古來此等各地產出の繭糸は重に福島に集り更に各地へ輸送さる故に斯業の發達と共に次第に發展し來り將來も亦專ら主力を實業の伸張に注ぎ以て世界の進運に伴ひ國力の充實に貢獻する所あらんとす我福島市の本領實に此に存す。



乘合自働車

福島停車場

福島市の要所　市に於て最も繁華を極むるは停車場通りより本町角の十字街を中心とし南は本町通りより中町北は置賜町より萬世町東は大町通りより上町十字街に至るまでにて此の間老舗巨店多く殊に日本銀行福島支店福島縣農工銀行福相銀行の如きは最近の新築に係り東北有數の

大建築と稱せらる又福島郵便局は大正七年の新築にして交通最も頻繁なる上町角の要所にあり此他諸官衙公署は主として市の南方杉妻町附近に集中し銀行會社は本町方面に介在し諸學校は南方に分立し各工場は西南北に設置され又曾根田及新町界隈は官公吏會社員等の居住多く萬世新町附近に辨護士代書人居住少なからす生糸問屋及蠶物商は中町荒町柳町方面に散在す。

福島ノ産物

生糸 は本市の主要物産にして年産額は五百五拾萬圓以上に達す輸出地は主として歐米其他の諸外國にて内地は京都、桐生、米澤等。

繭 春蠶及秋蠶共に壹千石内外にして養蠶家は主として曾根田、腰濱、五十邊、小山荒井の各部落に於て營まれ年産額拾五萬圓以上に達す。

輸出羽二重 は年産額貳百萬圓以上に達す主として輕目物の織出を特色とす輸出地は專ら米國、濠洲、歐洲印度、南米、加奈太、其他の諸外國なり。

節絹平絹 等の生産及集散頗る夥多なるものあり當地にて仲繼に係る節絹及平絹は當市及附近各町村の製産にて殆んと其全部を擧けて福島に集まり當地取扱店の手を經て各方面に販出きる其買賣高年參百萬圓以上に達す。

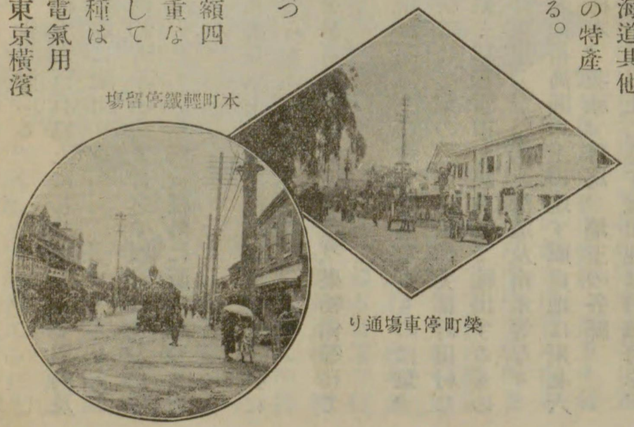
熨斗糸生皮苧 等の生産は年産額は貳拾萬圓以上に達す又以て福島市重要輸出品の一たるを窺知し得べきなり然れ共熨斗糸、繭生皮苧等は當市の産出のみを揭けたるも若し夫れ蠶物類の一切を計上せば更に其數甚大なるに驚くべし。

信夫文字摺 手巾は年産額拾萬圓以上にして販賣地は東京方面及北海道其他の各縣なり本市の特産として世に知らる。

裝飾品及家具 の格別見るべきものなく僅に家具製造株式會社あるに過ぎざるも斯業發達と共に發展しつゝあり。

陶器磁器 年産額四萬圓以上に達す重なる製品は磁器にして福島燒と稱す品種は内地向日用品及電氣用碍子等輸出地は東京横濱を主とす。

製藥 は創業日淺きも年産額貳萬以上にて重なる製品は二硫化炭素とす輸出地は主として東京、大阪、名古屋山形、宮城、栃木の各府縣なり。



文房具類　は縣内の需要に應するに止まるも當市より産する筆は優秀の品多くして名聲を博せり。

紙製品　は雨合羽油紙及蠶種煙草入にて年産額八萬圓の多きに達す販賣地は本縣並に宮城、山形、秋田の各縣にて本市特産して世に知らる。

清酒　年産出高約千六百石以上にして主として市内及信夫、伊達の両郡等に販出す。

醤油　は年産出高約五千石以上に達す販路は主として市内の需用に止まりしも近年漸次縣外に販出しつゝあり。

味噌　年産出高九萬貫以上に達す近來斯業發達と共に漸次縣外に販出せらる。

菓子　類の名物を擧くれは綾信夫、羊羹、果物飴等にて産額亦少からす

果實　年産額四拾萬圓以上に達す其重なるものは梨、柿、櫻桃、葡萄、桃等にて梨の主産地は信夫郡野田村なるも福島の荳場梨と稱し當市を經由して輸出するもの多し其の輸出地は東京、名古屋、北海道及南米等なり。

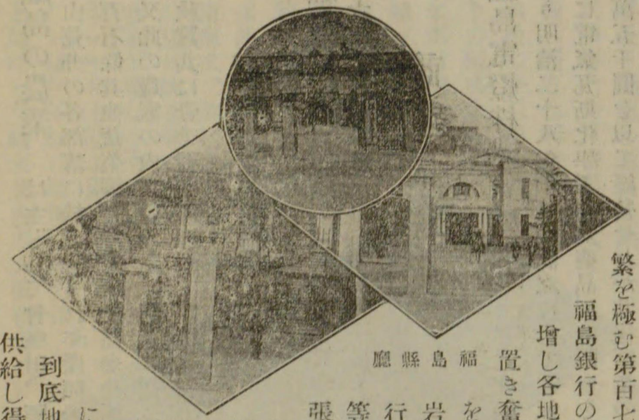
度量衡器　年産額拾萬圓以上に達す販賣地は東北六縣並に北海道及栃木、茨城、群馬、埼玉の各縣。

製氷　年産出高四千噸以上に達す輸出地は磐城海岸、若松、米澤、新潟、仙臺等。

此他　福島の燐寸、オーテ石鹸、羽二重、片布製ハタキ、鐵器類。

金融

福島の金融　當市は生糸繭の集散地にして年々其期節に到れば資金の需用激增するのみならず斯業の發達と共に諸種の事業夥多なるを以て資金の需用は常に頻繁を極む第百七銀行、商業銀行福島銀行の如きは資本額を增し各地に支店出張所を置き奮つて業務の繁昌を期しつゝあり又岩代銀行、鈴木實業銀行、福相銀行等は近時規模を擴張し其後山八銀行福島支店設立され又安田銀行は市役所明治初年より當地に支店を置き地方の金融に資し資金需用は到底地方銀行のみにて供給し得ざるの實況なり日本銀行は明治三十四年より出張所を設置し後ち支店に改め斯界の調節に任し來れり地方銀行も亦基礎の鞏固業務の刷新を計り今や當市の金融機關は優に東北の



福島縣會議事堂

福島縣廳

重鎮たり。

農　業

福島の農業　は主として曾根田、腰濱、五十邊、小山荒井の各部落に於て營まれ年産額米五千石、雜穀五百石餘其他蔬菜等を併せ産額高參拾萬圓以上に達す。又此の農家の内半數以上は蠶業に從ふ收繭高は春蠶及秋蠶共に壹千石内外にして價格拾五萬圓以上に達す。

福島商業會議所

福島商業會議所　【電話九三五】字杉妻町にあり大正六年七月の創立。

商工業會所

福島電燈株式會社（電話一六三三五五六）字西町十一番地にあり明治二十八年十月の設立にして電氣瓦斯製造供給並に電氣瓦斯化學工業及藥品製造販賣を業とす資本金貳萬五千圓を以て經營せしか其後斯業の發達と共に小規模なるを感し數回に亘り資本金額を增資大正八年五月刈田水力電氣株式會社と合併し資本金參百萬圓とし第一發電所信夫郡庭坂村第二發電所同所第三發電所伊達郡湯野村等の三發電所を有し白石發電所は宮城縣刈田郡小原村に目下工事中にあり（大正九年十月竣工の豫

定）引續き事業を擴張しつゝあり東北有數の大電燈會社を以て稱せらる。

福島羽二重株式會社【電話二三】下釜三番地にあり明治四十年三月の設立にして輸出羽二重の製織及精練を業とす資本金五拾萬圓を以て經營せしか其後市場の要求と機運の進展に連れ大正四年十一月資本金六拾萬圓とし同時に二本松に分工場を置き力織機六百臺を据付男女工四百八十餘人を使用す一ヶ年製出高約六萬疋産額約貳百萬圓輸出地は米國、濠洲、歐洲、印度南米、加奈太其他の諸外國全國有數の機業工場なり明治四十二年今上陛下東宮殿下におはし玉ひし時御臺臨の榮を賜はり又歐米及内地大博覽會に出品し名譽賞牌を受く。

共同生糸荷造所
日本銀行支店

組福島製糸所（電話三一〇二〇二）市内太田町にあり大正六年三月の設立にして個人經營なり機械製糸を業と

す男女工一千百餘人を使用す一箇年の產出高約拾萬斤產額貳百萬圓前後に達す製糸は主として米國其他の諸外國に輸出す。

株式會社共同生糸荷造所 （電話一一四五五）

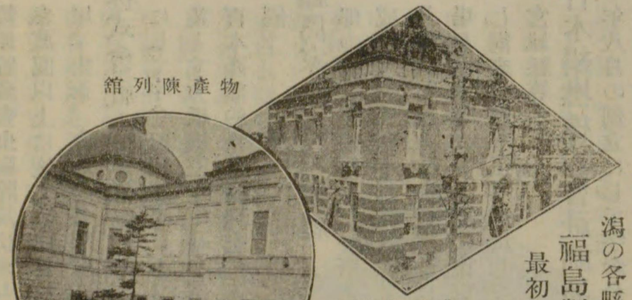
字大町にあり明治二十二年六月合資會社として創立さる地方養蠶家が個々別々に製造せる生糸を纏めて海外に輸出するには勢ひ品位品質を判別して等級を附するの要あり是れ本所設立の理由にして爾來信用を博し折返糸の名聲海外に知らる其後斯業の發達と共に資本額を增し大正六年五月株式會社に改め資本金貳拾五萬圓とし（全額拂入濟）更に製糸工場を設立し伊達郡梁川及信夫郡大森村等へ分工場を置き男女工一千餘名を使用し一箇年製出高約六萬斤價格百參拾萬圓前後に達す輸出地は歐洲、米國其他の諸外國なり東宮殿下　今上陛下を首め奉り故有栖川宮、閑院宮、同妃各殿下、昌德宮季王世子殿下御臺臨の光榮を賜はり歐米及內地大博覽會に出品し其都度名譽賞牌を受く同所の等級商標は金將、金盃、姫達摩、一頭馬首、二頭馬首、三頭馬首等なり

福島紡織株式會社 （電話六五六六）

字淸明町にあり明治四十年四月の創立にして資本金五拾萬圓を有し玉糸製造及展綿製造を業とせしか更に紡績業を開始し市外鄕の目に分工場を設けたり男女工四百五十餘人を使用し一箇年產出高玉糸五千五百貫餘展綿約五千貫輸出地は埼玉、兩毛、新潟、山形、栃木其他の各縣。

株式會社福島三器商會 （電話一〇六）

字北町十四番地にあり大正元年八月の設立にして度量衡器製作並に修繕販賣を業とす資本金五萬圓從業者幷に職工三十餘名を使用し一箇年製產高約參萬個產額拾萬圓以上に達す輸出地は東北六縣幷に北海道、栃木茨城群馬埼玉、新潟の各縣なり同會の商標を福とす。



農工銀行

物產陳列館

福島製陶株式會社 （電話八〇二）

最初金澤忠右衞門氏の個人經營にして大正二年十月字狐塚に設立す信夫山に產する白土の陶土に適する事を發見し市の物產の一たらしめんとして陶磁器の製造を企劃し玆に福島製陶所の設立を見たり其後斯業の發達と共に資本金額を增加し大正五年十二月株式會社に組織を變更し福島製陶株式會社と改め資本金七萬五千圓とし（全額拂込濟）引續き事業を擴張しつゝあり製品の陶器及磁器就中磁器を主として福島燒と稱す品種は內地向日用品及電氣用碍子類とす男女工五十餘名を使用し一箇年產出價格約

五萬圓以上に達す輸出地は東京横濱を主とす。

福島製藥株式會社 【電話 三三九】字八劔にあり大正七年七月の設立にして資本金拾萬圓製藥を業とす職工二十餘名を使用し主として二硫炭素を製造す用途は米穀類貯藏害虫驅除及びゴム製造等にして一箇年產額約參萬圓以上に達す輸出地は主として東京、大阪、名古屋、山形、宮城の各府縣。

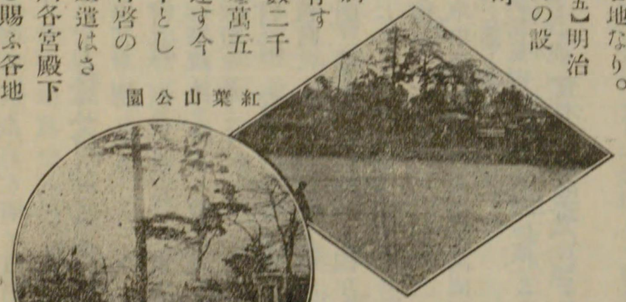
株式會社九笹械業場 【電話三二】大正八年二月設立にして字曾根田廣町にあり資本金拾萬圓羽二重製織を業とす力織機三十五臺を据付け一箇年製出高約四千六百本產額約拾萬圓以上に達す輸出地は歐洲其他の諸外國。

福島家具株式會社 【電話 八二五】の前進は鈴木友太郎の個人經營なりしか斯業の發達と共に小規模なるを感し大正八年十月株式會社に組織變更し而して福島家具株式會社と改め資本金は五萬圓を備へ事務所幷に工場を字本町に置き更に東京に分工場を置き設備を擴張し爾來引續き工事中にして製品の販路は縣内及山形、宮城縣等なり。

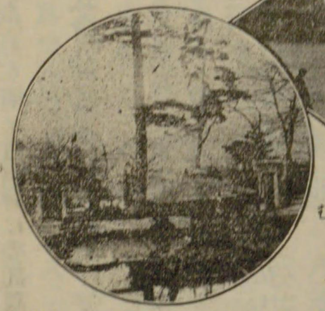
日本絹撚株式會社福島工場 【電話 一三七】大正七年八月の創立にして字森合にあり絹撚を業とす（本社は群馬縣桐生町にあり資本金參百萬圓）男女工二百名を使用し一箇年製產高約一萬貫に達し製品主として米澤、桐生等の依託物を取扱ふ。

福島製氷株式會社 【電話 九二八】大正七年五月の設立にして資本金拾萬圓製氷幷に販賣を業とす工場は字兵庫田にあり營業部を字大町に置く一箇年產出高四千噸以上にして主なる輸出地は若松、米澤、新潟、磐城海岸、仙臺の各地なり。

信梨社 【電話三五】明治三十三年十一月の設立にして字中町にあり栽園地は信夫郡野田村大字下野寺にして栽園反別五町七反餘を有す梨子の植付樹數二千六百本餘收穫參萬五千貫匁以上に達す今上陛下東宮殿下として福島市に御行啓の際有馬侍從を差遣はさに有栖川北白川各宮殿下御買上の光榮を賜ふ各地共進會に於て銀牌銅牌其他數回賞狀を受領す。



紅葉山公園



阿武隈川より紅葉山眺む

福島酒造株式會社 【電話三五】大正二年十二月創立にして字柳町にあり資本金拾萬圓にして清酒醸造幷に販賣を業とす。

福島製板合資會社 【電話 七三四】明治四十一年六月

の設立にして字早稲町にあり資本金四千五百圓製板幷に販賣を業とす。

丸福製材合資會社 は明治四十四年十月の設立にして字江向にあり製材幷に販賣を業とす。

福島精米株式會社 【電話 六四四】大正八年九月の設立にして字榮町停車場通りにあり精米賃搗幷に委託買賣を業とす。

福島人造スレート株式會社 【電話 八一二】目下字八劔に工場の設備工事中にあり。

福島蠶種株式會社 【電話 四三六】大正六年六月の設立にして字田尻女學校通りにあり資本金五萬圓にして蠶種の製造幷に販賣を業とす。

福島倉庫合資會社 【電話 八三三】明治三十二年五月の創立にして字西町にあり生繭乾燥及倉庫業。

倉庫株式會社 【電話四四】明治四十四年六月の創立にして字御倉町にあり生繭乾燥倉庫業。

福島誠壹株式會社 (電話 七一一九)明治三十二年三月の設立にして停車場前にあり資本金拾萬圓運送及倉庫幷に生繭の乾燥を業とす。

福島運送合資會社 (電話 一〇三六二五)大正二年三月の設立にして停車前にあり資本金五萬圓にして貨物運送取扱を業とす。

福島市場

福島公設市場 は大正八年七月の設立にして稲荷公園内にあり販賣品目は米雜穀、蔬菜、海產物、乾物、味噌醬油、薪、炭其他の日用品とす。

蔬菜市場 字豊田町にあり蔬菜類の委託賣買を業とす近來交通の便開くるに從ひ益々取引を擴張し各地の商人と活潑なる取引をなすに至れり一箇年賣買高拾萬圓以上に達す。

魚市場 株式會社魚問屋、横須賀魚問屋、粉又魚問屋の三あり魚類及海產物の委托賣買を業とす活潑なる取引をなしつゝあり。

保險會社

名稱	所在地	電話番號
福壽生命保險株式會社	東北支部榮町	六四二
高砂生命保險株式會社	東北支社榮町	八三五
萬歲生命保險株式會社	東北支部榮町	三二五
旭日生命保險株式會社	福島支社榮町	七三三
共保生命保險株式會社	東北支部榮町	五六一
大安生命保險株式會社	東北支部本町	二五一
有隣生命保險株式會社	東北支部大町	五九
日本生命保險株式會社	福島出張所置賜町	六六〇
帝國生命保險株式會社	福島出張所新町	八二九
第一生命保險相互會社	福島地方部舟場町	五一六
蓬來生命保險相互會社	福島第四管區大町	

病醫院

名稱	所在地	電話番號
共立福島病院	杉妻町	(一一六六)(五三八)

南病院	上町	六三
大原病院	大町	二〇六
佐藤病院	上町	六八
明治病院	北町	二二五
桐澤病院	中町	三三五
平岡醫院	中町	二二三
田原醫院	榮町	一七一
紫田醫院	萬世町	四五八
柴橋醫院	萬世町	五三一
馬場醫院	萬世町	
福田醫院	萬世町	四六〇
佐藤醫院	陣場町	
金子醫院	新町北	
照內醫院	北町	三四七
菅野醫院	早稻町	七五二
黑澤眼科醫院	置賜町	四三四
神岡眼科醫院	宮町	三三八
荒川齒科醫院	上町	一二六
福島齒科醫院	上町	
杉本齒科醫院	大町	二〇八
保坂齒科醫院	大町	
目黑齒科醫院	大町	
乾齒科醫院	萬世町	
西川齒科醫院	置賜町	九〇六
安齋齒科醫院	早稻町	七四七
福島治療院	一本杉	六一七
福島市立傳染病院	上川原	

新聞發行所

福島新聞社 （電話一四四四二〇）字杉妻町にあり明治十五年三月の創立にして最も古く今や一萬餘號に達せり。

福島民報社 （電話一四二二五七）字榮町にあり明治二十五年八月の設立にして個人經營なり。

福島民友新聞社 （電話四三四三）字大町にあり明治三十二年一月の創立にして株式組織とす。

福島日々新聞社 （電話三五九四五九）字大町にあり大正二年五月の創立なり。

其他大町に國民新聞、榮町にやまと、報知新聞、置賜町に中央新聞等の各支局ありて記事通信又は販賣擴張に從事し居れり。

次に月刊雜誌としては縣教育會より教育雜誌を發行す其他產業新報、福島茶話、東北經濟新報、伊達新報、新東北、實業の東北、蠶業新報等あり。

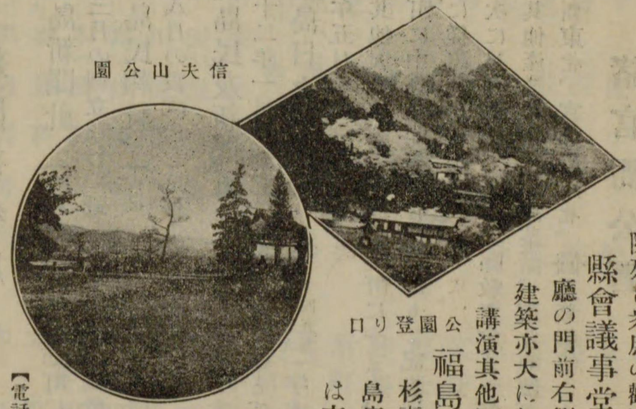
諸官衙公署

福島縣廳 【電話一】市の南端阿武隈川畔なる舊城趾にあり東側には紅葉山公園を控へ對岸には辨天山を望み景致頗る佳なり廳舍は去る明治四十一年奥羽六縣共進會の際其一部に改築を加へしもの構內には警察部巡

査教習所、度量衡檢定所、蠶業取締所、武德殿等の建設ありて壯麗なり。

物産陳列館 【電話 四六五】縣廳の東隣紅葉山公園の入口にあり去る明治四十四年の建築にして內外の物産を陳列し衆庶の觀覽及購買に供す。

縣會議事堂 【電話 四四六】縣廳の門前右側にあり地域廣く建築亦大にして縣會の外時々講演其他の開會に供せらる



信夫山公園

公園登り口

福島市役所（電話九一一〇）杉妻町にあり共立福島病院と相對す階上は市會議事堂に充つ

信夫郡役所 【電話一四六】上町にあり福島病院の北側にて前庭廣く樹木繁茂す。

福島郵便局 【電話一八〇】上町角の要地にあり大正七年の新築に係り洋風の建物にして異彩を加ふ。

福島警察署 【電話 一五九】停車場通り四つ辻の要所にあり北側に武術稽古場あり。

福島停車場 【電話七一】市の西方榮町にあり奥羽線の起點にして東北本線中屈指の停車場なり。

福島運輸事務所 【電話七四】停車場の北にあり洋風の建物なり奥羽線舟形驛、本線泉崎越河間及常磐線は川前驛長井線は長井驛迄管理す。

福島聯隊區司令部 【電話 二二〇】字田尻にあり福島市以下福島縣五郡宮城縣五郡の兵事事務を管理す。

福島小林區署 【電話 八三八】字後田にあり。

福島地方裁判所 【電話 二三三】字新町にあり構內に區裁判所執達吏役場辯護士會事務所等あり。

福島稅務署 【電話 一三四】字宮町にあり大正三年五月の新築にして洋風二階建なり。

蠶業試驗場福島支場 【電話 五六四】御山通り字齒抉柳にあり廣大なる敷地中に本館及蠶室と數個の附屬建物を有し頗る壯觀を極む明治四十五年來業務を開始せしが成績顯著にして全國支場中隨一と稱せらる。

福島監獄 【電話 一一九】信夫公園下字狐塚にあり白河若松、平、中村の四個の分監を管理す。

羽二重檢査所支所 【電話 三四三】監獄の西南字下釜にあり產品の檢査を行ふ。

福島縣工業試驗場 【電話 一六八】阿武隈川東岸渡利村にあり各種の機臺を据付け機織及染色の試驗研究に從事しつゝあり。

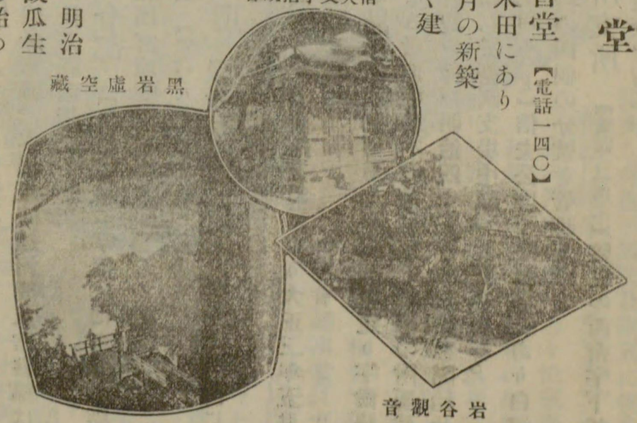
福島測候所 【電話 一六九】阿武隈川東岸渡利村にあり

日本赤十字社福島支部【電話一四一】は字舟場町にあり。

愛國婦人會福島支部【電話一四一】字舟場町赤十字社支部内にあり。

公會堂

福島市ノ公會堂【電話一四〇】市内腰濱字松木田にあり大正五年十二月の新築にして地域廣く建物亦大にして講演其他集會に供せらる工費四萬五百餘圓を要す。



救濟

福島育兒院 明治二十六年二月故瓜生イワ女等創立し始め清明町常光寺内に設け鳳鳴會育兒部と稱せしが三十五年四月伊達育兒院と合併して現在の名に改め大正八年十二月字西谷地に新築移轉せり主として孤兒を收容養育す。

福島縣聯合保護會 本會は大正五年六月の創立にして福島縣下に於ける免囚保護を目的とす機關統一を計り現在本會に加盟せる福島遷喬會外三保護會及福島佛教慈善會外二十六の佛教慈善會を指導監督し事業の刷新發達を努めつゝあり本會は森合狐塚にあり。

福島遷喬會 本會は監獄通り字後田にあり明治三十八年一月の創立にして出獄人の保護改善を以て目的とせり免囚者の外更に刑の執行猶豫者及起訴猶豫者等を保護し産業を授け必要ある場合は資金若くは職業用の器具器械を貸與し自營の途を立しむを以て目的とす。

福島佛教慈善會 本會は五月町誓願寺内にあり明治四十三年十月の創立にして特志家を以て組織し福島市及信夫郡に於ける免囚者の間接保護外救濟に關する各種事業の發達を期するに努めつゝあり。

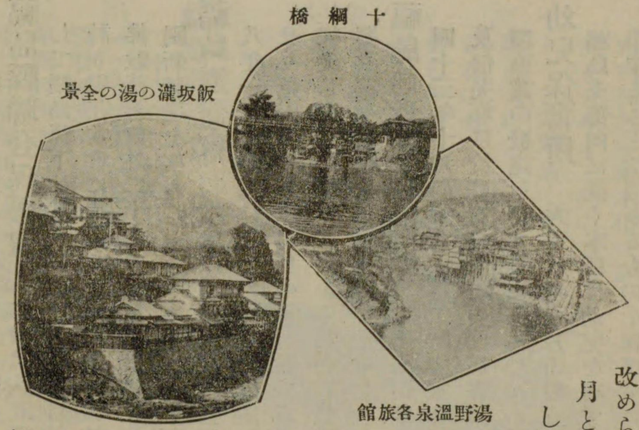
幼兒保育所 大正八年五月の設立にして愛國婦人會福島支部内に置く本所は幼兒を有するか爲め生業に從事すること能はざるものを保護するの目的を以て之を設く受托幼兒は四才以上學齢未滿のものにて入所を承諾したるときは毎日幼兒出席の際晝辨當に金貳錢の保育料を持參せしむるものとす取扱の幼兒は日々二十名以上ありて成績よし。

福島廣濟會 大正七年一月の設立にして大原一、石川芳太郎、二宮哲三、松岡白欣外二十一名の主唱に係り舟場町四十番地に置く本會は慈惠救濟を目的とし不

具癈疾及窮民の救助及授産公共團體の依託に因る行旅病人及ひ之に準すべきものを收容す。

諸銀行

日本銀行福島支店 【電話 二】字本町にあり去る明治三十四年七月創設當時は出張所なりしも其後支店と改めらる建物は三年の日月と工費拾五萬圓を要し大正元年暮竣工し東北唯一の大建築にして街上更に一美觀を加ふ。



福島縣農工銀行 【電話 一四八】字置賜町にあり警察署の北側にて明治三十一年三月設立す現今の建物は大正元年の新築に係り赤煉瓦の三階建にして日本銀行支店と共に双美とす。

株式會社第百七銀行 (電話 一〇七 四二七 五三四) 字大町にあり明治十一年九月の創立にして資本金貳百萬圓縣下に十三個所の支店を有し各方面に盛んなる取引をなす東北有數の大銀行を以て稱せらる。

株式會社福島商業銀行 (電話 七 三七) 字本町にあり明治二十九年八月の創立にして資本金壹百萬圓縣下支店出張所五個所を有し鋭意業務の進展を企劃しつゝあり。

株式會社百七貯蓄銀行 字大町第百七銀行内にあり大正七年十一月の設立にして資本金壹百萬圓を有し設立以來益々發展に努力し居れり。

株式會社福島銀行 【電話 三三四】字西町にあり明治十三年一月の設立にして資本金壹百萬圓支店及代理店四個所を有し隆盛なる取引を爲す。

株式會社岩代銀行 【電話 五六〇】字大町にあり明治四十四年の設立にして資本金五拾萬圓業務遂年發展す

株式會社福相銀行 (電話 五六二 七一四) 字大町にあり明治三十一年六月の設立にして資本金五拾萬圓縣下に六支店を有し業務益々擴張せらる昨今榮町に新築中なり。

株式會社鈴木實業銀行 (電話 七三九 八六五) 字中町にあり明治三十二年十一月の設立にして資本金貳拾萬圓業務の發達を期す。

安田銀行福島支店 (電話 五四二 六) 字本町にあり明治十三年一月の開設にして古き銀行の一なり。

株式會社山八銀行支店（電話四〇二八〇八）字中町にあり大正七年九月開業す。

金融機關の會社

福島信託株式會社【電話三三】明治三十九年十月の創立にして字大町にあり資本金拾萬圓金錢の貸付並に一般ノ信託業。

東福信託株式會社（電話三五〇七三二）大正元年八月の創立にして字中町にあり資本金參萬にして一般の信託業

東海信託株式會社（電話五五〇七五四）大正三年十二月の創立して字新町にあり資金五萬圓にして一般の信託業其他數個の貯蓄會社と數十戸の金貸及質屋業あり。

學校

福島縣師範學校【電話一六二】縣廳の東方阿武隈川畔の勝地にあり男子部女子部に分ち又別に附屬小學校を設く。

縣立福島中學校【電話一四七】信夫山の南麓字養山にあり構内に寄宿舍の設けあり。

市立商業學校【電話二四】大字腰濱字西谷地にあり甲種程度にて商業補習學校を附設す。

縣立蠶業學校【電話一六七】市外渡利村にあり本科別科の二種に分つ設備の整頓せる全國同種學校の模範たり。

縣立福島高等女學校【電話一六四】信夫山公園下にあり本科補習科專攻科に分つ構内に寄宿舍の設けあり

市立第一尋常高等小學校【電話九一〇】字杉妻町市役所の西隣にあり職工徒弟夜學校を併設す。

市立第二尋常高等小學校【電話八〇二】第一校の南隣にあり幼稚園及保嬰學校を併置す。

市立第三尋常小學校　大字小山荒井字水押にあり實業補習學校を附設す。

市立第四尋常高等小學校【電話七六〇】曾根田字あり。

市立第五尋常小學校　字清明町にあり。

市立第六尋常小學校【電話三一三】大字腰濱字西谷地にあり。

信夫郡立農學校【電話八四五】市外清水村大字森合に在り。

私立福島訓盲學校【電話五四三】字仲間町にあり近時新築して同所に移轉す本校は明治三十一年四月の創立にして澁木重庵、宇田三郎等の主唱に係り本縣及山形、宮城等の各地の盲者を収容し其修業年限を四個年とす。

私立成蹊女學校　字宮町にあり大正二年六月の創立にして生徒三百餘名あり修身、國語、裁縫外四科目にて本科三個年養成科二個年專科一個年とす。

私立學半塾　字西谷地にあり明治二十七年四月の創

立にして國語、漢文、算術、歴史、地理、理科を授け修業一個年とす。

私立福島産婆看護婦學校 【電話八一六】字大町にあり大正二年三月の設立にして學科修身、産婆科外二科目修業一個年。

私立福島修齊女學校 字萬世町にあり明治三十九年四月の創立にして學科は修身、裁縫修業速成科一個年普通科三個年

國立福島高等商業學校 は市外清水村大字森合に目下工事中にあり大正十一年度より開校の豫定。

市立福島圖書館 市の北方字大谷地にあり明治四十一年九月の設立にして圖書貳萬參千貳百餘冊を藏す。

橋梁

信夫橋 市の南端陸羽街道にありて信夫郡吉井田村との境須川に架設せる模範鐵橋なり延長九十九間二尺幅三間四尺夏の夕橋畔に歩を移せば納涼に適し明月將に吾妻小富士に落ちんとするの景は又一しほの眺なり同橋梁は明治四十二年三月の新架にして工費參萬五千圓を要す

松齡橋 市の東端伊達郡掛田及川俣街道にありて信夫郡渡利村との境阿武隈川に架設せる舟橋にして延長六十五間五尺幅二間

公園

信夫山公園 市の北端信夫山々腹に在り松杉鬱蒼として翠滴る如く梅櫻其の間に點綴せらる春季櫻花滿開の時全山人を以て埋めらる南方田野を隔てゝ市街の瓦甍を一眸の中に集め仰いて吾妻山を望み伏して阿武隈の巨流須川の急端を眺むべく風景甚だ佳なり

紅葉山公園 市の南端福島縣廳に接し物産陳列館あり阿武隈河畔の風光を占む園内に板倉神社あり藩祖板倉公を祀り縣社に列せらる。

稲荷公園 市の中央稲荷神社境内接續す。

公認競馬場 【電話 三六〇】

公認競馬場 は大正七年の開設にして大字腰濱にあり春秋二季開會す。

基督教會

福島ステパノ教會 明治三十二年十月の創立にして字置賜町二十二番地にあり信徒七十六名を有す。

福島日本基督教會 明治三十年十月の創立にして字後田十三番地にあり信徒百三十三名を有す。

天主公教會 明治三十八年八月の創立にして字小山荒井大明神にあり信徒五十八名を有す。

日本メソヂスト教會 明治三十八年五月の創立に

して舟場町一番地にあり信徒八十六名を有す。

福島基督教會 明治三十二年九月の創立にして字新町二十番地にあり信徒二百二十二名を有す。

福島組合教會 明治四十年六月の創立にして字中町六十一番地にあり信徒四十五名を有す。

救世軍福島小隊 明治四十四年七月の創立にして字廣町にあり信徒百八名を有す。

ホーリネス教會 字本町に在り。

神社

縣社黑沼神社（延喜式内 大字御山字堂殿） 欽明天皇の后石姫皇后を祀るも其年代詳ならず拜殿の前に一頑石あり「腰掛石」と稱す、石姫皇后此地に下られん際憩はせ玉ひし石なりと傳ふ、又本社に古き木像二基あり源義家奥羽追討の際鳥海三郎の祖父母に恩を受け凱旋後手つから両人の像を刻み社内に安置したるものなりと云ひ、又社殿の西方一丁餘に方十間許の池あり「黑沼」と名つく、是れ神名の越りし所以ならんも何に由りて然か云ふやは知らず（例祭七月九日 社司富田等弘）

縣社稻荷神社（字宮町）祭神は豊受比女命、大日留貴貴命、譽田別命なり傳説に依れば永延元年安信晴明詔を奉して奥羽に下向したる際信太明神を祀り地方の鎮守となしたるに起因すと云ふ然れど天正十九年及慶長十年一、二度兵燹に罹り、其後亦類燒に逢ひ記錄灰燼に歸して詳細を知り難し明治四年鄕社に列し同四十一年縣社に昇格す。

例祭十月九日十日十一日　社司　丹治經也

縣社板倉神社（杉妻町紅葉山）祭神板倉重昌靈

由緒重昌は舊福島藩主板倉氏の遠祖にして德川家康に仕へ軍功ありし人なり當初江戸の邸内に祀りしを板倉重寛福島入部の際城の本丸に遷し明治の初年更に三河に遷せしを明治十三年分靈を出願し同十五年十月神殿の工事成ると共に板倉神社と改稱し奉祭せり同三十九年十一月縣社に昇格す此年重矩の靈を合祀せり。

例祭四月三日　社司　富田等弘

村社天神社（曾根田宮ノ内）祭神　菅原道眞公

由緒攝州曾根崎より勸請したりとも云ひ又今の松川が往昔同村を通し居りし際天神の面流來れるを祀りしとも云ひて詳かならず現今の神殿は延享三年村内十一戸江島屋左衞門、同八郎兵衞及福島町の講中二十八人資を合して改造したるものなり。

例祭　四月拾五日　社司　丹治經也

村社神明神社（腰濱西宿）祭神　天照皇太神

由緒安永六年九月の勸請にして社殿は元緣年間の改造なりと云ふ。

例祭　十月二十一日　社掌　丹治經也

村社瀧洞神社（五十邊字山居）祭神　水波女命

由緒今は水涸れたれど古き瀧跡ありて石の不動尊を安置す其創祀詳かならず明治三年二月瀧洞神社と改稱し同

五年村社に列す社殿は明治三十年の改造なり。

例祭　十月二十日　社掌　富田等弘

村社水雲神社　祭神天之水分命、國之水分命鷄權現と稱す信夫山南麓大字小山荒井にあり境内には老杉五六株あり古祠には無數の繪馬を納む小兒が百日咳にかゝりしもの此繪馬を借り來つて水瓶の上に逆さに吊し平癒を祈りながら水を注ぐ癒かば御禮に借りしものと新しきものと二枚にして返納すると云ふ。

例祭　十月十九日　社掌　丹治經也

寺院

常光寺（清明町）曹洞宗大源派にして遠州雲林寺の末寺永正三年三月宗祖道元十一世の法孫僧長現の開山にして本尊の虚空藏菩薩は行基の作なりと云ふ現今の堂宇は元祿六年の再建にして市内隨一の巨刹なり。

東安寺（早稲町）曹洞宗總持寺派にて信夫郡小田陽林寺道元十六世聯芳和尚開けりと云ふも其年月詳ならず（一説に文祿三年とも云ふ）聯芳和尚は慶長十七年八月沒す或は其頃の建立なるやも知れず堂宇は文政九年火災に罹り翌十年再建せるものなり。

長樂寺（舟場町）曹洞宗大源派は越後岩船郡耕雲寺末なり慶長五年二月本莊繁長田村郡守山より福島城に入るに際し舊地越後本莊より萬年山長樂寺を遷して城北に建つ同寺四世雲勝の代なり境内に繁長の廟あり俗に繁長八幡と稱す。

龍鳳寺（腰濱）曹洞宗大源派長樂寺末、元和七年八月雲勝和尚此地に來り飛翔するを見たり吉祥の地なりとて隱居寺に建てしもの什寶に繁長の護持せる觀音の像、繁長朝鮮より持ち來れる古き瓶、白鳳の羽等あり

寶積寺（舟場町）曹洞宗通幻派米澤林泉寺末創建年月詳ならず一説に道元二十五世の孫林郭開山し天正五年伊達晴宗の開基なりと傳ふ境内に晴宗の墓あり位牌は本堂に安置す。

誓願寺（五月町）淨土宗名越派磐城專稱寺末永祿十年僧良念の創建なりと云ふも天保三年四月火災に罹り由來錄記等燒失し詳細を知る能はず。

到岸寺（大町）淨土宗名越派磐城成德寺末成德寺十四世の住僧良憲傳法の爲め當地に來れる折時の奉行片桐安藝、靑柳藤左衞門等城内の大日堂に招請し勸化を乞ふ慶長五六年の頃伊達上杉兩氏の戰爭あり大日堂又た大破に及びし爲め同十三年現地に一宇を建てしなりと。

大圓寺（御山墓地下）淨土宗名越派磐城專稱寺末僧良巖の開創なりと云ふも其年月は元和元年とも寛文五年とも稱し詳ならず同寺は元早稲町にありしが火災に遇ふて假堂の儘なりしを明治三十二年四月現地に新建して移れるなり。

康善寺（五月町）眞宗本願寺派なり見眞大師の直弟明敎貞永元年常奥遊化の節信夫郡黑岩村小原に草庵を結

ひ秀安寺と號せしを其後元和六年時の福島城代古河善兵衛大檀家となり今の地に移し舊牌等信州康樂寺十二世了尊の二男重覺を請して住職となす寺號は康樂寺と善兵衛の頭字を採りしものなりと。

西蓮寺 （大　町）眞宗本願寺派親鸞十一世顯如の法弟善永の創建なりと傳ふ善永は長井齋藤別當實永の一子實永北畠顯家に從つて戸根川に戰沒し善永孤兒となり信達兩郡内に成長す然も賊勢盛にして自ら措くに所なく出家して所々に移居す此間年代寺號詳ならず二世善通の代本願寺より寺號を授けられ慶長九年現地に移る堂宇は明治十四年の大火に燒失し假堂の儘なり。

乘蓮寺 （新　町）眞宗大谷派僧乘蓮當初田村郡三春町に開創（年代不詳）し六世間同地にありしも七世西念福島に移り寛文十一年三月現地に創建しなるなり。

眞淨院 （清明町）眞言宗豐山派武州彌勒寺末僧空海延歷二年二月（一說に天長二年二月とも云ふ）靈山遍照寺と號せしを慶長五年僧快翁中興し寺號を改めたりと傳ふ古牌あり明治十四年の大火に遇へ中折せしも元は剝落せる文字の中に延曆二年閏二月二十二日の數字を辨せんとす。

觀音寺 （五十邊）眞言宗豐山派眞淨院末寺創建年代詳ならず慶長四年光觀和尙中興すと云ふ。

廣布寺 （高田北）日蓮宗十派總本山大石寺末、明治十七年十一月寺號公稱の許可を得て建しもの也。

東光寺 （森　合）日蓮宗下總法華經寺末明治十九年來法華經寺の講義所を陣場町に設けありしが四十三年九月之を廢し千葉縣松尾より東光寺を移し現地に新建したるなり。

慈恩寺 （大　町）臨濟宗妙心寺派米澤法泉寺末天平勝寶の頃行基遊化し正觀世音を彫刻して草庵を安置したるを僧益傳（野州那須野雲巖寺住職）當地に巡遊再興し其後數代を經上杉氏時代に法泉寺の末寺となりしものなり。

寶林寺 （御倉町）時宗遊行派藤澤清淨光寺末永仁五年正月僧他阿眞敎創建せしものなりと云ふも天保三年大火に遇ひ由來緣起等悉く灰燼に歸し詳細を知る能はず

常德寺 （柳　町）天臺宗比叡山延曆寺の末派天保以來再三火災に罹り殿堂記錄悉く燒失し考證の徵す可きものなし境内に法華經の塔あり寛政七年五世順海の建設なることを刻せり。

佛　堂

馬頭觀世音 （仲間町）創立年代詳ならず本尊は行基の作と稱す堂前に馬場あり慶長年間本莊繁長か設けしものなりと云ふ。

地藏堂 （腰濱字五老内）是亦創建年代詳ならず本尊を鼻採地藏と稱す慈覺大師の作なりと云ふ。

地藏堂 （小山荒井字仲ノ町）萬治二年到岸寺四世應山の開基なりと云ふ。

附近ノ名所古跡

信夫山　福島市の北方田園中に突出堀起せる一孤嶺なり周圍約二里高さ二百八十六尺餘東方の最高峯を熊野峠と云ひ中を谷山（絶頂に羽黒神社を祀る）と呼び西を羽山（頂上に二塚あり之を御陵と云ふ）と稱す又支脈三あり一は熊野峠より北に走りて立石山（西北端に二丈餘の立石あり）となり一は東に延びて天狗森（東南麓に巖谷觀音あり）となり一は谷山と羽山の中間より東南に支出して寺山（山嶺に古刹藥王寺あり）となる此寺山を南下せば縣社黑沼神社あり此境内に隣接して信夫公園あり公園の北隅に招魂社を祀れり。

鳥ケ崎ノ眺望　羽山の絶頂松林中に二個の古塚あり古來之を淳中大尊、石姫皇后の陵なりと傳ふ夫より少し西に下りて屹立せる嶄崖あり之を「烏ヶ崎」と云ふ四面開濶眺望絶佳人をして神心飛越せしむ。

古刹藥王寺　寺山の東にあり昔天安元年慈覺大師開けるも後年佛法衰へて五十世照傳中興せりと傳ふ本尊は唐南岳の作とも云ひ又行基の作とも稱し不明なれと古朴愛す可きものあり。

羽黑神社　谷山の絶巓にあり淳中大尊を祀る古來土人尊敬して信達兩郡の總社とす神殿五間四面頗る壯麗を極む明治四年縣社黑沼神社の攝社とす。

弘安ノ碑　谷山の東南字糟魂の叢中にあり何人が何の爲めに建てしや文字剝落讀む可らす。

堪水清水谷　山の南面字清水にあり石隙より一滴づゝ滴り聲あるを以て名あり。

巖谷觀音　天狗森の南腰字岩谷にあり奇巖怪石壁立して堂を擁し佛堂は應永廿三年十月伊賀良目七郎の末孫掃部之助建立し慶長十九年觀音寺住僧光觀再建したるもの結構頗る佳なり境内の岩石には西國三十三番札所觀世音の像を刻み又巖を刳りて小石佛を安置せり風景頗る佳なり。

天狗森　元天寶森と稱し往古戰亂ありし際寶物を埋めし所なりと云ふ石祠あり愛宕神社を祀る此地も亦眺望に富む其他西方に蝦夷穴夫婦石及東面に博奕室胎内潜り重箱清水等あり。

文字摺觀音　福島市の東方一里岡山村大字山口にあり堂は二間四面にして其後に二層の塔あり創建年月詳ならす傍に文字摺石あるを以て俗に文字摺觀音と稱す

文字摺石　今は觀音堂の前にあるも昔時は前山の中腹にありしと云ふ此の石の由緒に就きては古來諸種の說あるも要するに其石面滑かにして且つ一種の紋形（忍草形に似て亂れたる紋と云）あり其紋形を布に摺り朝貢したるに起原し爾來此もち摺及信夫摺が海内無双の絶品として都人士間に賞され所謂和歌の浦波に名をかるゝ人々の口によりて一層其の名を博せしものゝ如し即ち文德帝の御代に和歌を以て著はられし在五中將が「しのぶ摺」の狩衣の裾をかいまみし女の許に

かすが野の　わが紫のすり衣
　　しのぶのみだれ　かぎりしられず

と書きて贈れるを始めとし河原左大臣の

　　みちのくの　しのぶもちずり誰故に
　　みだれそめにし　われならなくに

と詠まれしなど信夫もち摺の名益々揚り布帛を携へ來りて之を試むるもの多く殊に冬春の候などは畑の麥葉を採りて摺り去るより農家は之を憂ひ寧ろ此石を取り拂はんとて暗夜に乘し屈强の壯者を出つ終に丘上より水田に擠せり幷は安德帝の御世の頃ならすと云ふ又た同所に河原左大臣が按察使となり奥州に下向したる折此名所を尋ね來りて同村虎女の家に宿り虎が別離を悲み再會を觀世音に祈り日夕堂前の石に手を擦り祈願を籠めし爲め終に其石が鏡の如くなりしと云ふ所謂「鏡石」なるものあり其他同所に虎女の墓虎ヶ清水姥棋等あり何れも同村虎女に關する遺跡なりと云ふ明治四十一年時の東宮殿下行啓あらせらる。

辨天山公園　福島市の對岸渡利村にあり元岩城氏の據れる城地の一角なりと云ふ風光佳絶信夫山と相對して好一對の登臨地なり明治三十九年に山腰に櫻樹を植ゆ花時亦賞す可し。

椿舘趾　渡利村の西北部字椿舘に在り境域東西二百六十間南北六十間乳郭塹濠隱々認む可し昔者岩城判官の居る所と云ふ。

八幡舘　椿舘の南面坂上に岩城家の臣大波某の居りしと云ふ舘趾あり興廢年紀詳ならす後特地遠江守再構して之に居る當時山上に八幡小祠を建立し八幡舘と號せしと云ふ半腹に都波岐神社の趾あり其他此附近に合計八個の舘趾あり。

黑岩虛空藏　福島市の南方一里杉妻村大字黑岩にあり地は滿願寺の境内に接して阿武隈河畔に臨む弘仁二年一比丘來りて創建せりと云ふ後衰敗せしを慶長三年上杉氏の臣尾崎重譽之を中興し更に寛永十一年古河重吉再建せり堂は南向五間四面岩石亂峙の上に結構す風景頗る佳なり堂後の山上松林中に大頑石起臥し每石上羅漢の像を刻す。

兒塚　同村大字太平寺に在り昔泰慶寺の兒白菊丸僧自休を相州江の島に尋ね其人已に死せりと誤り聞き二首の和歌を詠じ海に投じて死す今の兒ヶ淵是なり自休哀悼詩を賦して之を哭し遺骸を負ひ來りて葬る元祿九年福島候堀田正虎碑を建てゝ標す。

拜石　同村大字伏拜にあり往昔日本武尊東夷征討の折此石上に伏し信州諏訪明神を遙拜し玉ひしと云ふ後世土人及往來の衆庶此石に伏し御山を拜す明治九年聖駕東巡の折に御駐輦ありたり又た同所坂の東側に船擊石あり日本武尊東征の時船を擊ぎ玉ひし石なり傳ふ。

渡邊權頭ノ墓　同村清水町字宮の上にありて石の小祠を建つ權頭は炭燒藤太の弟にて幼名を平太と呼ぶ山林を好みて此地に隱棲し後神職となり出雲神宮に奉仕す同村を開きし　なり。

石那坂古戰場　同村大字伏拜の西一里許にあり文治五年八月泰衡が郎黨佐藤莊司、阿部高經、伊賀良、日高重等親信十八人賴朝の軍勢と勢ふて死せし所なり。

吉次ノ宮　平田村平石字吉次下の山にあり金商吉次信高兄弟を祭る社を下りて池あり信高判金を洗ひし所なりと又南方十町餘兒ヶ澤に古き金坑五ヶ所あり吉次の父藤太が金を堀りし所と云ふ吉次判金を販かんとて都に上る途中義經の東下するに遇ひ伴ひて自家に宿せしめし等歷史上關係深き所なり。

六清水　同村大字山田の清水山下路傍にあり昔欽明帝の后石姫本村に滯留し賜ひし時此池にて盥ひせられたりと傳ふ。

駒ケ池　同村平石字駒ヶ池の路傍田の中にあり昔土人此池水を以て二匹の馬を飼ひ秀衡に献ず秀衡之に大黑小黑と名つけ小黑を賴朝に贈る賴朝其駿良を愛し磨墨と號け梶原景季に與ふ宇治川先陣の騎馬之なりと傳ふ

伊達氏ノ墓　同村大字小田陽林寺の裏山腹にあり植宗の墓は墳六尺中央に跌石のみ殘り碑なし實元の墓は其傍にありて松樹の下に碑を建つ高さ八尺餘。

大森城趾　福島市の西南一里大森村城山の頂にあり天文十年伊達晴宗の築く所當時東に相馬氏南に畠山氏西に葦名氏ありて互に武備を張り釁を窺ふを以て其族伊達成實其臣片倉景綱をして此を守らしむ天正九年伊達政宗奥州岩手山に移るや蒲生氏卿此地を領し其將木村重次を居せしむ慶長三年上杉景勝の所領となり其臣芋川正親其子元親孫綱親曾孫高親等相次て寛文年中上杉氏封を削られ德川氏の領となり城遂に廢す。

治重ノ館趾　同村字古館にあり佐藤元治の臣信夫小次郎治重の居りし所と云ふ文治五年大鳥城賴朝の爲めに陷され佐藤氏滅ぶと共に信夫氏も亦た滅びしなりと

僧文覺ノ墓　同村大字永井川にあり小經細流を前にし水田(文覺田と云ふ)を後にす文覺配流の時庵を結びし所なりと云ふ。

大鵬城趾　飯坂町の西約十町餘にあり秀衡の族佐藤元治の居りし所元治五年八月賴朝泰衡を討つ元治石那坂に禦ぎ敗死し九月城陷り佐藤氏亡ぶと此地現今公園として浴客の遊樂に資す。

其他此附近に元治の嫡男前信の居りし高館元治の臣大越五郎兵衞の守りし五郎兵衞館永祿年間飯坂右近の居りし古館等あり。

醫王寺　飯坂の南方七八町平野村地内にあり境内藥師堂の側らに元治夫妻及文治年間義經に從ひ源平の戰に討死さる繼信忠信の碑あり又同寺に義經辨慶の遺物數多あり就中辨慶の笈及札等殊に珍とす。

愛宕山　湯野溫泉北方にある小丘にて元北畠顯家の築きし所なりと云ふ山上に祠あり愛宕神社を祈る亦山腰に櫻樹を植えて公園となし眺望好く風景佳なり。

湯野堰ノ碑　穴原にあり同堰は上杉氏の臣古河善兵衞私財と身命とを賭して開鑿せるもの水路の延長七里此工費約拾六萬兩土民碑を建てゝ其德を頌す實に寶永

十年六月二十三日なり又た明治二十年中同村高畑に祠を建て西根神社と稱し永く遺澤の鴻大なるを感謝しつゝあり。

天王寺　飯坂町の西北十餘丁字天王寺にあり米澤臨濟宗法泉寺の末派なり寺の記錄に法燈國師の開基とあるも年代考ふ可らず天正三年春翁西堂和尚中興すと云ふ寺に飯坂右近將監宗康の位牌を安す法諡を天王寺殿靈巖起公大禪定門と云ふ天正十六子年九月二日卒と記す寺より南方一丁許山麓に小き五輪塔あり宗康の墳なりと其北十間許竹叢中に小き古碑二あり宗康の長子某と女飯坂姫の墓なりと云ふ。

葛ノ松原　湯野村より東方半里睦合村字松原に曹洞宗の松原禪寺あり保延三年覺英僧都（二條關白當家の弟）の開山なりと云ふ覺英は奈良法隆寺の弟子或る時寺を脱し行く〳〵各山靈跡を尋ねて同地に來り觀音堂附近に卜居し保元二年入寂すと傳ふ壽永二年西行法師來り事蹟を探りしことは西行撰集抄に明かなり又同村高舘山に伊達氏の遠祖中村常陸介の舘跡及同村萬正寺に墓所等あり。

佐藤繼信忠信ノ墓　飯坂町の西南七八丁平野村醫王寺にあり其父佐藤庄司の墓と相列べり。

靈山　伊達郡と宮城縣伊具郡との郡界に當り高さ三百米丈怪巖奇石森然立遠く之を望めば劍戟毫刺するが如し鬼神劈靈山の名虛しからず古歌に所謂人不知山是れなりと稱す此山は元弘年間北畠顯家卿が後醍醐天皇の皇子義良親王を奉じて據りたる所にして城趾尚ほ存せり城趾を距る一里靈山神社あり北畠顯房、顯家、顯信、守親、の四卿を祀る靈山支城の跡なりと云ふ現今別格官幣社に列せらる山地にして眺望に富み伊達、平野を脚下に望むべし。

御蔭ノ松　桑折町無能寺にありて老松庭を蔽ふ明治十四年車駕東北御巡幸の際蹕を此處に駐められ其の繫れる蔭を賞して御蔭の松の稱を賜はる無能寺は此地方有名なる右刹なり。

半田銀山　本鑛山は金鑛にして半田小坂兩村に跨れる半田山の東麓にありて本山發見の年代は遠く千年以前にあるものゝ如しと雖も其の記錄詳ならず降て慶長寛文の頃に至り德川幕府の直轄に歸し奉行を置きて之れを管理し夥多の通貨を鑄造し當時佐渡相川金山但馬の生野銀山と俱に日本三鑛山の一に數へられたりと云ふ其の後百餘年の星霜を經て民業に移り明治の初年五代友厚の手に歸し其の子龍作之を繼續し再び盛況を呈せしも三十三年山崩の難に遭ひ爲めに事業を縮少せり。

伊達郡　長岡村に永倉舘あり長岡天王の例祭は古來絲市を以て其名高し南方瀨ノ上町の對岸には昔者阿武の松原と稱せしあり名所亦た餘目村宮代に國府城趾あり永承年中源頼義の築きし所にりと云ふ更に北方桑折を經て藤田に到る途上舊蹟多し厚樫山は藤原泰衡の築きし所其西麓の下紐關あり昔行旅の人を鑑し軍門の防ぎ

となす土人之を伊達の大木戸と云ふ。

飯坂溫泉　福島市の西北方二里餘飯坂にあり同町北端に位し鯖湖湯、透達湯、波薬湯、瀧ノ湯、赤川湯、赤川端湯、金瀧湯、天王寺湯の八湯あり泉質は無色清澄なる弱鹽類泉にして亞爾加里性を徵せり土地高燥にして東北は摺上川を隔てて伊達郡湯野村に界す湯野亦溫泉を以て名あり此間架するに十綱橋を以てす橋下奇巖怪石に富み水流之れに激して白波洶湧す風致幽邃覺へず而して旅館の多くは軒を斷崖に竝べ層樓彰を水に浮ぶ之れを以て對岸より見れば三層若しくは四層の高樓なれども之れを屋背より見れば又普通の平屋に過ぎず樓上樓下數十の客室を有せり浴槽は崖下にありて長廊に依つて相往來せしむるあり其の設備の完きを以て稱せらる。

湯野溫泉　福島市の北方二里十町餘飯坂の北對岸摺上川を隔てゝ湯野溫泉あり橋本湯、切湯、狐湯の三溫泉に分れ泉質飯坂層泉に異ならず其の景致に富むことも亦相讓らず旅館の多くは前に川を控へ家を岩壁の上に建つ若し浴後に欄倚らば眼前摺上川の清流と共に飯坂の奇勝を賞することを得べし。

土湯溫泉　福島市の西南四里餘土湯村にあり附近に思ひ瀧女沼男沼等の勝地あり昔秦川勝するもの聖德太子の命に依り東國に下りし時半身痲痺の病に罹り太子自作の像夢にて此溫泉に浴し治癒したりと傳ふ今同村興德寺に安置せる佛像是なり泉質は鹽類性硫黃性に屬し無色透明にして硫化水素の臭氣を含む。

穴原溫泉　湯野溫泉より摺上川に沿うて上ること半里程湯野村穴原にあり奇巖石の間溪流奔馳し水清く地閑雅にして避暑に適するを以て夏時最も浴客多し。

高湯溫泉　福島市の西方四里吾妻山の中腹にあり地高くして信達の平野を一望すべし風景に富み且つ最も避暑に適す泉質は無色透明にして酸性反應を里し强く硫化水素の臭氣を放ち酸味にして收欽性あり。

ぬる湯溫泉　福島市の西方四里吾妻山の中腹にあり附近に姥瀧高さ八丈一尺幅六尺の布瀑の勝地あり同溫泉は解雪の候から溫度が低下し冬は却て酸性の反應ある溫泉なるを以て眼病に適す。

五色溫泉　福島驛より奥羽線に乘りかへ板谷停車場に下車し同所より三十丁にして達す大浴舍あり子供の出來るので有名の溫泉なり。（新五色は不忘山麓にあり）

附錄

旅館（市内主なるもの左の如し）

名稱	所在地	電話
松葉館本店	杉妻町	三〇〇
福島ホテル	榮町	三四四
藤金本店	中町	五五四 一三 二〇四

名稱	所在地	電話
同支店	榮町	二〇三
辰見屋	同	三一六
福島館	同	三〇九
島屋	同	一〇六
平松館	同	一〇八

料理店

（市内主なるもの左の如し）

名稱	所在地	電話
松葉館本店	杉妻町	二四三
中常	仲間町	四四一
皆樂亭	杉妻町	六四一
川合亭	上町（鰻蒲燒）	六〇三
福島ホテル	榮町（西洋料理）	五一四
東洋館本店	仲間町（西洋料理）	四五一六

大正五年五月二十日印刷
大正五年五月二十五日發行

發行所　福島市役所
編纂者　三品音五郎
印刷者　竹內吉平
印刷所　福陽印刷株式會社

福島市街圖

福島市街圖
東北本線
須川
松川
福島中學校
東光寺
常光寺
清明町
五月町
大町
中町
イロハニホヘトチリヌルヲワカヨタ
日本銀行支店
農工銀行
安田銀行
福島警察署
福島運送會社
福島民報社
福島新聞社
レソツネナラムウヱノオクヤマケフ
福島日々新聞社
福島民友新聞社
信夫郡役所
福島市役所
福島税務所
福島警察部
福島紡織會社
公立福島病院
コヰテアサキユメミシヱヒモセス
福島第二小學校
福島第三小學校
福島第四小學校
福島第五小學校
福島第六小學校
福島小林区署
福島地方裁判所
福島公會堂圖書館
日本赤十字社支部
福島成蹊女學校
佐藤病院

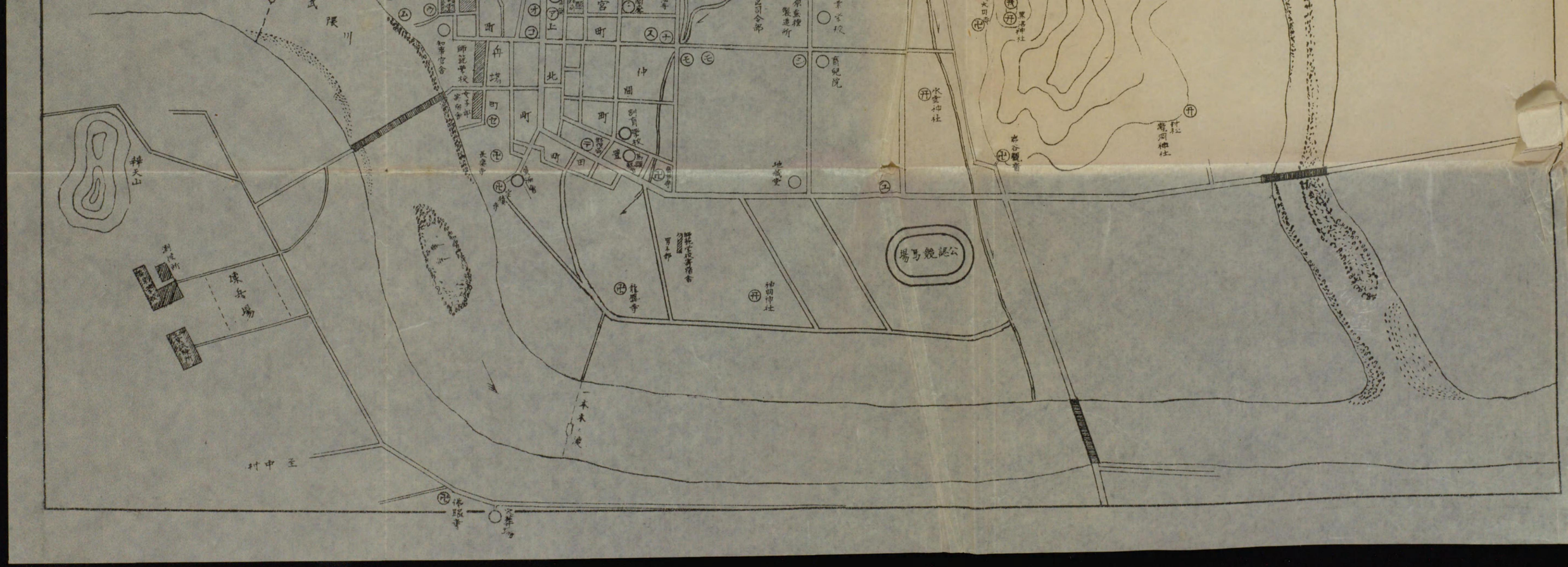
清明町
五月町
早稲田
本町
中町
荒町
大町
上町
北町
宮町
新町
錦町
仲間町
弁慶町
武陵川
公設競馬場
練兵場
測量所
稱天山
明星山
信夫山公園
水壺神社
龍河神社
岩谷觀音
福島聯隊
高等女學校
育兒院
地藏堂
神明神社
龍雲寺
福島小林区署
福島地方裁判所
福島公會堂圖書館
福島第一小學校
福島第二小學校
福島第三小學校
福島第四小學校
福島第五小學校
福島第六小學校
福島第十字社支部
福島婦人會
福島成蹊女學校
南病院
大泉病院
佐藤病院
治病院
尚院
慶應病院

武隈川
師範學校
女子部寄宿舍
丹塲町
北町
仲間町
宮町
上町
弁天山
測候所
練兵場
公認競馬場
水雲神社
村社
龍河神社
岩谷觀音
育兒院
地藏堂
袖切神社
一本木
至中村
長楽寺

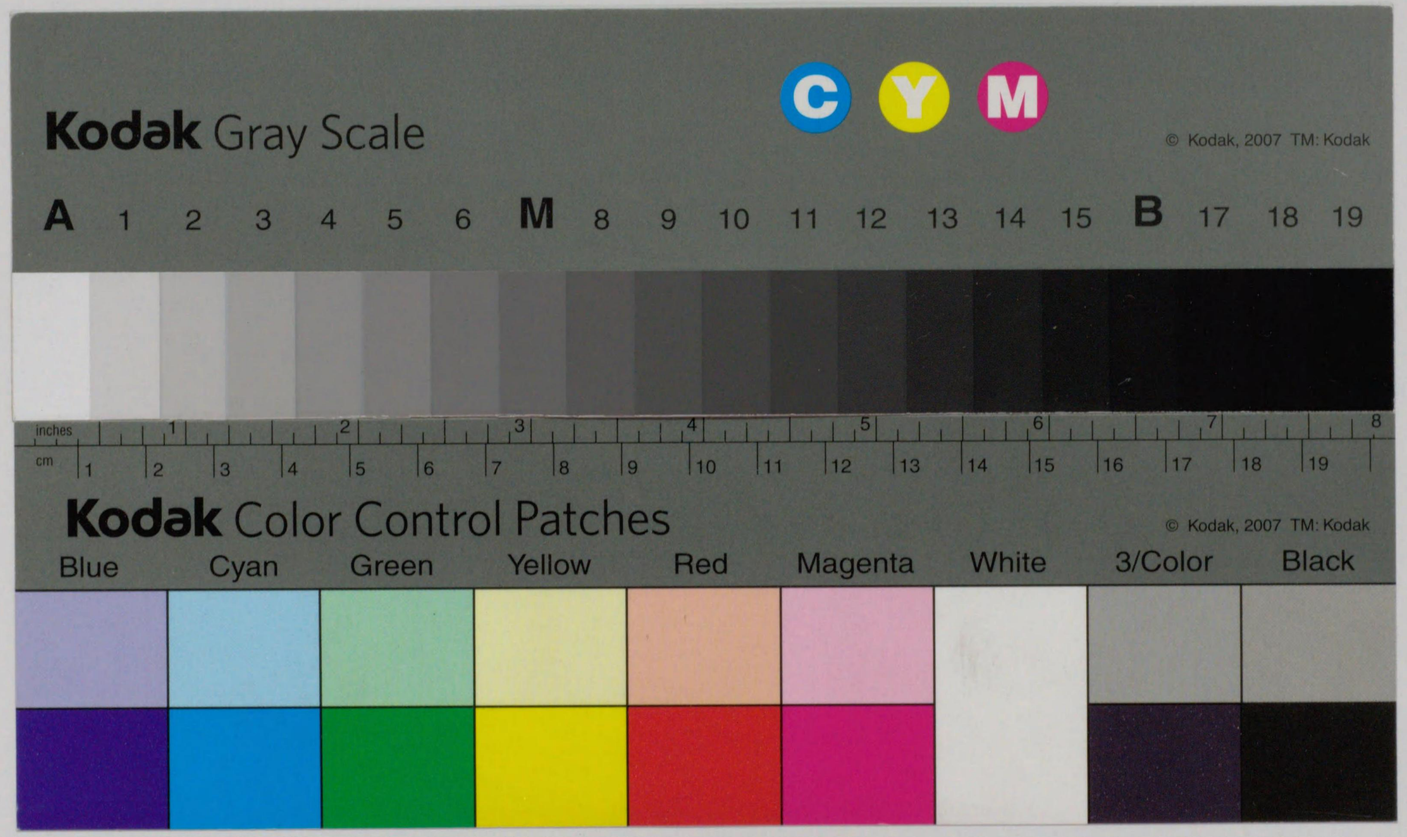
福島市街圖

須川
清明町
五月町
早苗
五
中
大
新
本
町
鯛
津場
福島中學校
東光寺
福島驛
福島市役所
福島郵便局
福島銀行
福島商業學校
福島高等學校
福島小學校
福島第一小學校
福島第二小學校
福島第三小學校
福島第四小學校
福島第五小學校
福島第六小學校
福島第七小學校
福島第八小學校
福島第九小學校
福島第十小學校
福島第十一小學校
福島第十二小學校
福島第十三小學校
福島第十四小學校
福島第十五小學校
福島第十六小學校
福島第十七小學校
福島第十八小學校
福島第十九小學校
福島第二十小學校
福島第二十一小學校
福島第二十二小學校
福島第二十三小學校
福島第二十四小學校
福島第二十五小學校
福島第二十六小學校
福島第二十七小學校
福島第二十八小學校
福島第二十九小學校
福島第三十小學校
福島第三十一小學校
福島第三十二小學校
福島第三十三小學校
福島第三十四小學校
福島第三十五小學校
福島第三十六小學校
福島第三十七小學校
福島第三十八小學校
福島第三十九小學校
福島第四十小學校
福島第四十一小學校
福島第四十二小學校
福島第四十三小學校
福島第四十四小學校
福島第四十五小學校
福島第四十六小學校
福島第四十七小學校
福島第四十八小學校
福島第四十九小學校
福島第五十小學校
福島第五十一小學校
福島第五十二小學校
福島第五十三小學校
福島第五十四小學校
福島第五十五小學校
福島第五十六小學校
福島第五十七小學校
福島第五十八小學校
福島第五十九小學校
福島第六十小學校
福島第六十一小學校
福島第六十二小學校
福島第六十三小學校
福島第六十四小學校
福島第六十五小學校
福島第六十六小學校
福島第六十七小學校
福島第六十八小學校
福島第六十九小學校
福島第七十小學校
福島第七十一小學校
福島第七十二小學校
福島第七十三小學校
福島第七十四小學校
福島第七十五小學校
福島第七十六小學校
福島第七十七小學校
福島第七十八小學校
福島第七十九小學校
福島第八十小學校
福島第八十一小學校
福島第八十二小學校
福島第八十三小學校
福島第八十四小學校
福島第八十五小學校
福島第八十六小學校
福島第八十七小學校
福島第八十八小學校
福島第八十九小學校
福島第九十小學校
福島第九十一小學校
福島第九十二小學校
福島第九十三小學校
福島第九十四小學校
福島第九十五小學校
福島第九十六小學校
福島第九十七小學校
福島第九十八小學校
福島第九十九小學校
福島第百小學校
福島第百一小學校
福島第百二小學校
福島第百三小學校
福島第百四小學校
福島第百五小學校
福島第百六小學校
福島第百七小學校
福島第百八小學校
福島第百九小學校
福島第百十小學校
福島第百十一小學校
福島第百十二小學校
福島第百十三小學校
福島第百十四小學校
福島第百十五小學校
福島第百十六小學校
福島第百十七小學校
福島第百十八小學校
福島第百十九小學校
福島第百二十小學校
福島第百二十一小學校
福島第百二十二小學校
福島第百二十三小學校
福島第百二十四小學校
福島第百二十五小學校
福島第百二十六小學校
福島第百二十七小學校
福島第百二十八小學校
福島第百二十九小學校
福島第百三十小學校
福島第百三十一小學校
福島第百三十二小學校
福島第百三十三小學校
福島第百三十四小學校
福島第百三十五小學校
福島第百三十六小學校
福島第百三十七小學校
福島第百三十八小學校
福島第百三十九小學校
福島第百四十小學校
福島第百四十一小學校
福島第百四十二小學校
福島第百四十三小學校
福島第百四十四小學校
福島第百四十五小學校
福島第百四十六小學校
福島第百四十七小學校
福島第百四十八小學校
福島第百四十九小學校
福島第百五十小學校
福島第百五十一小學校
福島第百五十二小學校
福島第百五十三小學校
福島第百五十四小學校
福島第百五十五小學校
福島第百五十六小學校
福島第百五十七小學校
福島第百五十八小學校
福島第百五十九小學校
福島第百六十小學校
福島第百六十一小學校
福島第百六十二小學校
福島第百六十三小學校
福島第百六十四小學校
福島第百六十五小學校
福島第百六十六小學校
福島第百六十七小學校
福島第百六十八小學校
福島第百六十九小學校
福島第百七十小學校
福島第百七十一小學校
福島第百七十二小學校
福島第百七十三小學校
福島第百七十四小學校
福島第百七十五小學校
福島第百七十六小學校
福島第百七十七小學校
福島第百七十八小學校
福島第百七十九小學校
福島第百八十小學校
福島第百八十一小學校
福島第百八十二小學校
福島第百八十三小學校
福島第百八十四小學校
福島第百八十五小學校
福島第百八十六小學校
福島第百八十七小學校
福島第百八十八小學校
福島第百八十九小學校
福島第百九十小學校
福島第百九十一小學校
福島第百九十二小學校
福島第百九十三小學校
福島第百九十四小學校
福島第百九十五小學校
福島第百九十六小學校
福島第百九十七小學校
福島第百九十八小學校
福島第百九十九小學校
福島第二百小學校
福島第二百一小學校
福島第二百二小學校
福島第二百三小學校
福島第二百四小學校
福島第二百五小學校
福島第二百六小學校
福島第二百七小學校
福島第二百八小學校
福島第二百九小學校
福島第二百十小學校
福島第二百十一小學校
福島第二百十二小學校
福島第二百十三小學校
福島第二百十四小學校
福島第二百十五小學校
福島第二百十六小學校
福島第二百十七小學校
福島第二百十八小學校
福島第二百十九小學校
福島第二百二十小學校
福島第二百二十一小學校
福島第二百二十二小學校
福島第二百二十三小學校
福島第二百二十四小學校
福島第二百二十五小學校
福島第二百二十六小學校
福島第二百二十七小學校
福島第二百二十八小學校
福島第二百二十九小學校
福島第三百小學校
福島第三百一小學校
福島第三百二小學校
福島第三百三小學校
福島第三百四小學校
福島第三百五小學校
福島第三百六小學校
福島第三百七小學校
福島第三百八小學校
福島第三百九小學校
福島第三百十小學校
福島第三百十一小學校
福島第三百十二小學校
福島第三百十三小學校
福島第三百十四小學校
福島第三百十五小學校
福島第三百十六小學校
福島第三百十七小學校
福島第三百十八小學校
福島第三百十九小學校
福島第三百二十小學校
福島第三百二十一小學校
福島第三百二十二小學校
福島第三百二十三小學校
福島第三百二十四小學校
福島第三百二十五小學校
福島第三百二十六小學校
福島第三百二十七小學校
福島第三百二十八小學校
福島第三百二十九小學校
福島第四百小學校
福島第四百一小學校
福島第四百二小學校
福島第四百三小學校
福島第四百四小學校
福島第四百五小學校
福島第四百六小學校
福島第四百七小學校
福島第四百八小學校
福島第四百九小學校
福島第四百十小學校
福島第四百十一小學校
福島第四百十二小學校
福島第四百十三小學校
福島第四百十四小學校
福島第四百十五小學校
福島第四百十六小學校
福島第四百十七小學校
福島第四百十八小學校
福島第四百十九小學校
福島第四百二十小學校
福島第四百二十一小學校
福島第四百二十二小學校
福島第四百二十三小學校
福島第四百二十四小學校
福島第四百二十五小學校
福島第四百二十六小學校
福島第四百二十七小學校
福島第四百二十八小學校
福島第四百二十九小學校
福島第五百小學校
福島第五百一小學校
福島第五百二小學校
福島第五百三小學校
福島第五百四小學校
福島第五百五小學校
福島第五百六小學校
福島第五百七小學校
福島第五百八小學校
福島第五百九小學校
福島第五百十小學校
福島第五百十一小學校
福島第五百十二小學校
福島第五百十三小學校
福島第五百十四小學校
福島第五百十五小學校
福島第五百十六小學校
福島第五百十七小學校
福島第五百十八小學校
福島第五百十九小學校
福島第五百二十小學校
福島第五百二十一小學校
福島第五百二十二小學校
福島第五百二十三小學校
福島第五百二十四小學校
福島第五百二十五小學校
福島第五百二十六小學校
福島第五百二十七小學校
福島第五百二十八小學校
福島第五百二十九小學校
福島第六百小學校
福島第六百一小學校
福島第六百二小學校
福島第六百三小學校
福島第六百四小學校
福島第六百五小學校
福島第六百六小學校
福島第六百七小學校
福島第六百八小學校
福島第六百九小學校
福島第六百十小學校
福島第六百十一小學校
福島第六百十二小學校
福島第六百十三小學校
福島第六百十四小學校
福島第六百十五小學校
福島第六百十六小學校
福島第六百十七小學校
福島第六百十八小學校
福島第六百十九小學校
福島第六百二十小學校
福島第六百二十一小學校
福島第六百二十二小學校
福島第六百二十三小學校
福島第六百二十四小學校
福島第六百二十五小學校
福島第六百二十六小學校
福島第六百二十七小學校
福島第六百二十八小學校
福島第六百二十九小學校
福島第七百小學校
福島第七百一小學校
福島第七百二小學校
福島第七百三小學校
福島第七百四小學校
福島第七百五小學校
福島第七百六小學校
福島第七百七小學校
福島第七百八小學校
福島第七百九小學校
福島第七百十小學校
福島第七百十一小學校
福島第七百十二小學校
福島第七百十三小學校
福島第七百十四小學校
福島第七百十五小學校
福島第七百十六小學校
福島第七百十七小學校
福島第七百十八小學校
福島第七百十九小學校
福島第七百二十小學校
福島第七百二十一小學校
福島第七百二十二小學校
福島第七百二十三小學校
福島第七百二十四小學校
福島第七百二十五小學校
福島第七百二十六小學校
福島第七百二十七小學校
福島第七百二十八小學校
福島第七百二十九小學校
福島第八百小學校
福島第八百一小學校
福島第八百二小學校
福島第八百三小學校
福島第八百四小學校
福島第八百五小學校
福島第八百六小學校
福島第八百七小學校
福島第八百八小學校
福島第八百九小學校
福島第八百十小學校
福島第八百十一小學校
福島第八百十二小學校
福島第八百十三小學校
福島第八百十四小學校
福島第八百十五小學校
福島第八百十六小學校
福島第八百十七小學校
福島第八百十八小學校
福島第八百十九小學校
福島第八百二十小學校
福島第八百二十一小學校
福島第八百二十二小學校
福島第八百二十三小學校
福島第八百二十四小學校
福島第八百二十五小學校
福島第八百二十六小學校
福島第八百二十七小學校
福島第八百二十八小學校
福島第八百二十九小學校
福島第九百小學校
福島第九百一小學校
福島第九百二小學校
福島第九百三小學校
福島第九百四小學校
福島第九百五小學校
福島第九百六小學校
福島第九百七小學校
福島第九百八小學校
福島第九百九小學校
福島第九百十小學校
福島第九百十一小學校
福島第九百十二小學校
福島第九百十三小學校
福島第九百十四小學校
福島第九百十五小學校
福島第九百十六小學校
福島第九百十七小學校
福島第九百十八小學校
福島第九百十九小學校
福島第九百二十小學校
福島第九百二十一小學校
福島第九百二十二小學校
福島第九百二十三小學校
福島第九百二十四小學校
福島第九百二十五小學校
福島第九百二十六小學校
福島第九百二十七小學校
福島第九百二十八小學校
福島第九百二十九小學校
福島第十百小學校
福島第十百一小學校
福島第十百二小學校
福島第十百三小學校
福島第十百四小學校
福島第十百五小學校
福島第十百六小學校
福島第十百七小學校
福島第十百八小學校
福島第十百九小學校
福島第十百十小學校
福島第十百十一小學校
福島第十百十二小學校
福島第十百十三小學校
福島第十百十四小學校
福島第十百十五小學校
福島第十百十六小學校
福島第十百十七小學校
福島第十百十八小學校
福島第十百十九小學校
福島第十百二十小學校
福島第十百二十一小學校
福島第十百二十二小學校
福島第十百二十三小學校
福島第十百二十四小學校
福島第十百二十五小學校
福島第十百二十六小學校
福島第十百二十七小學校
福島第十百二十八小學校
福島第十百二十九小學校
福島第十一百小學校
福島第十一百一小學校
福島第十一百二小學校
福島第十一百三小學校
福島第十一百四小學校
福島第十一百五小學校
福島第十一百六小學校
福島第十一百七小學校
福島第十一百八小學校
福島第十一百九小學校
福島第十一百十小學校
福島第十一百十一小學校
福島第十一百十二小學校
福島第十一百十三小學校
福島第十一百十四小學校
福島第十一百十五小學校
福島第十一百十六小學校
福島第十一百十七小學校
福島第十一百十八小學校
福島第十一百十九小學校
福島第十一百二十小學校
福島第十一百二十一小學校
福島第十一百二十二小學校
福島第十一百二十三小學校
福島第十一百二十四小學校
福島第十一百二十五小學校
福島第十一百二十六小學校
福島第十一百二十七小學校
福島第十一百二十八小學校
福島第十一百二十九小學校
福島第十二百小學校
福島第十二百一小學校
福島第十二百二小學校
福島第十二百三小學校
福島第十二百四小學校
福島第十二百五小學校
福島第十二百六小學校
福島第十二百七小學校
福島第十二百八小學校
福島第十二百九小學校
福島第十二百十小學校
福島第十二百十一小學校
福島第十二百十二小學校
福島第十二百十三小學校
福島第十二百十四小學校
福島第十二百十五小學校
福島第十二百十六小學校
福島第十二百十七小學校
福島第十二百十八小學校
福島第十二百十九小學校
福島第十二百二十小學校
福島第十二百二十一小學校
福島第十二百二十二小學校
福島第十二百二十三小學校
福島第十二百二十四小學校
福島第十二百二十五小學校
福島第十二百二十六小學校
福島第十二百二十七小學校
福島第十二百二十八小學校
福島第十二百二十九小學校
福島第十三百小學校
福島第十三百一小學校
福島第十三百二小學校
福島第十三百三小學校
福島第十三百四小學校
福島第十三百五小學校
福島第十三百六小學校
福島第十三百七小學校
福島第十三百八小學校
福島第十三百九小學校
福島第十三百十小學校
福島第十三百十一小學校
福島第十三百十二小學校
福島第十三百十三小學校
福島第十三百十四小學校
福島第十三百十五小學校
福島第十三百十六小學校
福島第十三百十七小學校
福島第十三百十八小學校
福島第十三百十九小學校
福島第十三百二十小學校
福島第十三百二十一小學校
福島第十三百二十二小學校
福島第十三百二十三小學校
福島第十三百二十四小學校
福島第十三百二十五小學校
福島第十三百二十六小學校
福島第十三百二十七小學校
福島第十三百二十八小學校
福島第十三百二十九小學校
福島第十四百小學校
福島第十四百一小學校
福島第十四百二小學校
福島第十四百三小學校
福島第十四百四小學校
福島第十四百五小學校
福島第十四百六小學校
福島第十四百七小學校
福島第十四百八小學校
福島第十四百九小學校
福島第十四百十小學校
福島第十四百十一小學校
福島第十四百十二小學校
福島第十四百十三小學校
福島第十四百十四小學校
福島第十四百十五小學校
福島第十四百十六小學校
福島第十四百十七小學校
福島第十四百十八小學校
福島第十四百十九小學校
福島第十四百二十小學校
福島第十四百二十一小學校
福島第十四百二十二小學校
福島第十四百二十三小學校
福島第十四百二十四小學校
福島第十四百二十五小學校
福島第十四百二十六小學校
福島第十四百二十七小學校
福島第十四百二十八小學校
福島第十四百二十九小學校
福島第十五百小學校
福島第十五百一小學校
福島第十五百二小學校
福島第十五百三小學校
福島第十五百四小學校
福島第十五百五小學校
福島第十五百六小學校
福島第十五百七小學校
福島第十五百八小學校
福島第十五百九小學校
福島第十五百十小學校
福島第十五百十一小學校
福島第十五百十二小學校
福島第十五百十三小學校
福島第十五百十四小學校
福島第十五百十五小學校
福島第十五百十六小學校
福島第十五百十七小學校
福島第十五百十八小學校
福島第十五百十九小學校
福島第十五百二十小學校
福島第十五百二十一小學校
福島第十五百二十二小學校
福島第十五百二十三小學校
福島第十五百二十四小學校
福島第十五百二十五小學校
福島第十五百二十六小學校
福島第十五百二十七小學校
福島第十五百二十八小學校
福島第十五百二十九小學校
福島第十六百小學校
福島第十六百一小學校
福島第十六百二小學校
福島第十六百三小學校
福島第十六百四小學校
福島第十六百五小學校
福島第十六百六小學校
福島第十六百七小學校
福島第十六百八小學校
福島第十六百九小學校
福島第十六百十小學校
福島第十六百十一小學校
福島第十六百十二小學校
福島第十六百十三小學校
福島第十六百十四小學校
福島第十六百十五小學校
福島第十六百十六小學校
福島第十六百十七小學校
福島第十六百十八小學校
福島第十六百十九小學校
福島第十六百二十小學校
福島第十六百二十一小學校
福島第十六百二十二小學校
福島第十六百二十三小學校
福島第十六百二十四小學校
福島第十六百二十五小學校
福島第十六百二十六小學校
福島第十六百二十七小學校
福島第十六百二十八小學校
福島第十六百二十九小學校
福島第十七百小學校
福島第十七百一小學校
福島第十七百二小學校
福島第十七百三小學校
福島第十七百四小學校
福島第十七百五小學校
福島第十七百六小學校
福島第十七百七小學校
福島第十七百八小學校
福島第十七百九小學校
福島第十七百十小學校
福島第十七百十一小學校
福島第十七百十二小學校
福島第十七百十三小學校
福島第十七百十四小學校
福島第十七百十五小學校
福島第十七百十六小學校
福島第十七百十七小學校
福島第十七百十八小學校
福島第十七百十九小學校
福島第十七百二十小學校
福島第十七百二十一小學校
福島第十七百二十二小學校
福島第十七百二十三小學校
福島第十七百二十四小學校
福島第十七百二十五小學校
福島第十七百二十六小學校
福島第十七百二十七小學校
福島第十七百二十八小學校
福島第十七百二十九小學校
福島第十八百小學校
福島第十八百一小學校
福島第十八百二小學校
福島第十八百三小學校
福島第十八百四小學校
福島第十八百五小學校
福島第十八百六小學校
福島第十八百七小學校
福島第十八百八小學校
福島第十八百九小學校
福島第十八百十小學校
福島第十八百十一小學校
福島第十八百十二小學校
福島第十八百十三小學校
福島第十八百十四小學校
福島第十八百十五小學校
福島第十八百十六小學校
福島第十八百十七小學校
福島第十八百十八小學校
福島第十八百十九小學校
福島第十八百二十小學校
福島第十八百二十一小學校
福島第十八百二十二小學校
福島第十八百二十三小學校
福島第十八百二十四小學校
福島第十八百二十五小學校
福島第十八百二十六小學校
福島第十八百二十七小學校
福島第十八百二十八小學校
福島第十八百二十九小學校
福島第十九百小學校
福島第十九百一小學校
福島第十九百二小學校
福島第十九百三小學校
福島第十九百四小學校
福島第十九百五小學校
福島第十九百六小學校
福島第十九百七小學校
福島第十九百八小學校
福島第十九百九小學校
福島第十九百十小學校
福島第十九百十一小學校
福島第十九百十二小學校
福島第十九百十三小學校
福島第十九百十四小學校
福島第十九百十五小學校
福島第十九百十六小學校
福島第十九百十七小學校
福島第十九百十八小學校
福島第十九百十九小學校
福島第十九百二十小學校
福島第十九百二十一小學校
福島第十九百二十二小學校
福島第十九百二十三小學校
福島第十九百二十四小學校
福島第十九百二十五小學校
福島第十九百二十六小學校
福島第十九百二十七小學校
福島第十九百二十八小學校
福島第十九百二十九小學校
福島第二十百小學校
福島第二十百一小學校
福島第二十百二小學校
福島第二十百三小學校
福島第二十百四小學校
福島第二十百五小學校
福島第二十百六小學校
福島第二十百七小學校
福島第二十百八小學校
福島第二十百九小學校
福島第二十百十小學校
福島第二十百十一小學校
福島第二十百十二小學校
福島第二十百十三小學校
福島第二十百十四小學校
福島第二十百十五小學校
福島第二十百十六小學校
福島第二十百十七小學校
福島第二十百十八小學校
福島第二十百十九小學校
福島第二十百二十小學校
福島第二十百二十一小學校
福島第二十百二十二小學校
福島第二十百二十三小學校
福島第二十百二十四小學校
福島第二十百二十五小學校
福島第二十百二十六小學校
福島第二十百二十七小學校
福島第二十百二十八小學校
福島第二十百二十九小學校
福島第二十一百小學校
福島第二十一百一小學校
福島第二十一百二小學校
福島第二十一百三小學校
福島第二十一百四小學校
福島第二十一百五小學校
福島第二十一百六小學校
福島第二十一百七小學校
福島第二十一百八小學校
福島第二十一百九小學校
福島第二十一百十小學校
福島第二十一百十一小學校
福島第二十一百十二小學校
福島第二十一百十三小學校
福島第二十一百十四小學校
福島第二十一百十五小學校
福島第二十一百十六小學校
福島第二十一百十七小學校
福島第二十一百十八小學校
福島第二十一百十九小學校
福島第二十一百二十小學校
福島第二十一百二十一小學校
福島第二十一百二十二小學校
福島第二十一百二十三小學校
福島第二十一百二十四小學校
福島第二十一百二十五小學校
福島第二十一百二十六小學校
福島第二十一百二十七小學校
福島第二十一百二十八小學校
福島第二十一百二十九小學校
福島第二十二百小學校
福島第二十二百一小學校
福島第二十二百二小學校
福島第二十二百三小學校
福島第二十二百四小學校
福島第二十二百五小學校
福島第二十二百六小學校
福島第二十二百七小學校
福島第二十二百八小學校
福島第二十二百九小學校
福島第二十二百十小學校
福島第二十二百十一小學校
福島第二十二百十二小學校
福島第二十二百十三小學校
福島第二十二百十四小學校
福島第二十二百十五小學校
福島第二十二百十六小學校
福島第二十二百十七小學校
福島第二十二百十八小學校
福島第二十二百十九小學校
福島第二十二百二十小學校
福島第二十二百二十一小學校
福島第二十二百二十二小學校
福島第二十二百二十三小學校
福島第二十二百二十四小學校
福島第二十二百二十五小學校
福島第二十二百二十六小學校
福島第二十二百二十七小學校
福島第二十二百二十八小學校
福島第二十二百二十九小學校
福島第二十三百小學校
福島第二十三百一小學校
福島第二十三百二小學校
福島第二十三百三小學校
福島第二十三百四小學校
福島第二十三百五小學校
福島第二十三百六小學校
福島第二十三百七小學校
福島第二十三百八小學校
福島第二十三百九小學校
福島第二十三百十小學校
福島第二十三百十一小學校
福島第二十三百十二小學校
福島第二十三百十三小學校
福島第二十三百十四小學校
福島第二十三百十五小學校
福島第二十三百十六小學校
福島第二十三百十七小學校
福島第二十三百十八小學校
福島第二十三百十九小學校
福島第二十三百二十小學校
福島第二十三百二十一小學校
福島第二十三百二十二小學校
福島第二十三百二十三小學校
福島第二十三百二十四小學校
福島第二十三百二十五小學校
福島第二十三百二十六小學校
福島第二十三百二十七小學校
福島第二十三百二十八小學校
福島第二十三百二十九小學校
福島第二十四百小學校
福島第二十四百一小學校
福島第二十四百二小學校
福島第二十四百三小學校
福島第二十四百四小學校
福島第二十四百五小學校
福島第二十四百六小學校
福島第二十四百七小學校
福島第二十四百八小學校
福島第二十四百九小學校
福島第二十四百十小學校
福島第二十四百十一小學校
福島第二十四百十二小學校
福島第二十四百十三小學校
福島第二十四百十四小學校
福島第二十四百十五小學校
福島第二十四百十六小學校
福島第二十四百十七小學校
福島第二十四百十八小學校
福島第二十四百十九小學校
福島第二十四百二十小學校
福島第二十四百二十一小學校
福島第二十四百二十二小學校
福島第二十四百二十三小學校
福島第二十四百二十四小學校
福島第二十四百二十五小學校
福島第二十四百二十六小學校
福島第二十四百二十七小學校
福島第二十四百二十八小學校
福島第二十四百二十九小學校
福島第二十五百小學校
福島第二十五百一小學校
福島第二十五百二小學校
福島第二十五百三小學校
福島第二十五百四小學校
福島第二十五百五小學校
福島第二十五百六小學校
福島第二十五百七小學校
福島第二十五百八小學校
福島第二十五百九小學校
福島第二十五百十小學校
福島第二十五百十一小學校
福島第二十五百十二小學校
福島第二十五百十三小學校
福島第二十五百十四小學校
福島第二十五百十五小學校
福島第二十五百十六小學校
福島第二十五百十七小學校
福島第二十五百十八小學校
福島第二十五百十九小學校
福島第二十五百二十小學校
福島第二十五百二十一小學校
福島第二十五百二十二小學校
福島第二十五百二十三小學校
福島第二十五百二十四小學校
福島第二十五百二十五小學校
福島第二十五百二十六小學校
福島第二十五百二十七小學校
福島第二十五百二十八小學校
福島第二十五百二十九小學校
福島第二十六百小學校
福島第二十六百一小學校
福島第二十六百二小學校
福島第二十六百三小學校
福島第二十六百四小學校
福島第二十六百五小學校
福島第二十六百六小學校
福島第二十六百七小學校
福島第二十六百八小學校
福島第二十六百九小學校
福島第二十六百十小學校
福島第二十六百十一小學校
福島第二十六百十二小學校
福島第二十六百十三小學校
福島第二十六百十四小學校
福島第二十六百十五小學校
福島第二十六百十六小學校
福島第二十六百十七小學校
福島第二十六百十八小學校
福島第二十六百十九小學校
福島第二十六百二十小學校
福島第二十六百二十一小學校
福島第二十六百二十二小學校
福島第二十六百二十三小學校
福島第二十六百二十四小學校
福島第二十六百二十五小學校
福島第二十六百二十六小學校
福島第二十六百二十七小學校
福島第二十六百二十八小學校
福島第二十六百二十九小學校
福島第二十七百小學校
福島第二十七百一小學校
福島第二十七百二小學校
福島第二十七百三小學校
福島第二十七百四小學校
福島第二十七百五小學校
福島第二十七百六小學校
福島第二十七百七小學校
福島第二十七百八小學校
福島第二十七百九小學校
福島第二十七百十小學校
福島第二十七百十一小學校
福島第二十七百十二小學校
福島第二十七百十三小學校
福島第二十七百十四小學校
福島第二十七百十五小學校
福島第二十七百十六小學校
福島第二十七百十七小學校
福島第二十七百十八小學校
福島第二十七百十九小學校
福島第二十七百二十小學校
福島第二十七百二十一小學校
福島第二十七百二十二小學校
福島第二十七百二十三小學校
福島第二十七百二十四小學校
福島第二十七百二十五小學校
福島第二十七百二十六小學校
福島第二十七百二十七小學校
福島第二十七百二十八小學校
福島第二十七百二十九小學校
福島第二十八百小學校
福島第二十八百一小學校
福島第二十八百二小學校
福島第二十八百三小學校
福島第二十八百四小學校
福島第二十八百五小學校
福島第二十八百六小學校
福島第二十八百七小學校
福島第二十八百八小學校
福島第二十八百九小學校
福島第二十八百十小學校
福島第二十八百十一小學校
福島第二十八百十二小學校
福島第二十八百十三小學校
福島第二十八百十四小學校
福島第二十八百十五小學校
福島第二十八百十六小學校
福島第二十八百十七小學校
福島第二十八百十八小學校
福島第二十八百十九小學校
福島第二十八百二十小學校
福島第二十八百二十一小學校
福島第二十八百二十二小學校
福島第二十八百二十三小學校
福島第二十八百二十四小學校
福島第二十八百二十五小學校
福島第二十八百二十六小學校
福島第二十八百二十七小學校
福島第二十八百二十八小學校
福島第二十八百二十九小學校
福島第二十九百小學校
福島第二十九百一小學校
福島第二十九百二小學校
福島第二十九百三小學校
福島第二十九百四小學校
福島第二十九百五小學校
福島第二十九百六小學校
福島第二十九百七小學校
福島第二十九百八小學校
福島第二十九百九小學校
福島第二十九百十小學校
福島第二十九百十一小學校
福島第二十九百十二小學校
福島第二十九百十三小學校
福島第二十九百十四小學校
福島第二十九百十五小學校
福島第二十九百十六小學校
福島第二十九百十七小學校
福島第二十九百十八小學校
福島第二十九百十九小學校
福島第二十九百二十小學校
福島第二十九百二十一小學校
福島第二十九百二十二小學校
福島第二十九百二十三小學校
福島第二十九百二十四小學校
福島第二十九百二十五小學校
福島第二十九百二十六小學校
福島第二十九百二十七小學校
福島第二十九百二十八小學校
福島第二十九百二十九小學校
福島第三十百小學校
福島第三十百一小學校
福島第三十百二小學校
福島第三十百三小學校
福島第三十百四小學校
福島第三十百五小學校
福島第三十百六小學校
福島第三十百七小學校
福島第三十百八小學校
福島第三十百九小學校
福島第三十百十小學校
福島第三十百十一小學校
福島第三十百十二小學校
福島第三十百十三小學校
福島第三十百十四小學校
福島第三十百十五小學校
福島第三十百十六小學校
福島第三十百十七小學校
福島第三十百十八小學校
福島第三十百十九小學校
福島第三十百二十小學校
福島第三十百二十一小學校
福島第三十百二十二小學校
福島第三十百二十三小學校
福島第三十百二十四小學校
福島第三十百二十五小學校
福島第三十百二十六小學校
福島第三十百二十七小學校
福島第三十百二十八小學校
福島第三十百二十九小學校
福島第三十一百小學校
福島第三十一百一小學校
福島第三十一百二小學校
福島第三十一百三小學校
福島第三十一百四小學校
福島第三十一百五小學校
福島第三十一百六小學校
福島第三十一百七小學校
福島第三十一百八小學校
福島第三十一百九小學校
福島第三十一百十小學校
福島第三十一百十一小學校
福島第三十一百十二小學校
福島第三十一百十三小學校
福島第三十一百十四小學校
福島第三十一百十五小學校
福島第三十一百十六小學校
福島第三十一百十七小學校
福島第三十一百十八小學校
福島第三十一百十九小學校
福島第三十一百二十小學校
福島第三十一百二十一小學校
福島第三十一百二十二小學校
福島第三十一百二十三小學校
福島第三十一百二十四小學校
福島第三十一百二十五小學校
福島第三十一百二十六小學校
福島第三十一百二十七小學校
福島第三十一百二十八小學校
福島第三十一百二十九小學校
福島第三十二百小學校
福島第三十二百一小學校
福島第三十二百二小學校
福島第三十二百三小學校
福島第三十二百四小學校
福島第三十二百五小學校
福島第三十二百六小學校
福島第三十二百七小學校
福島第三十二百八小學校
福島第三十二百九小學校
福島第三十二百十小學校
福島第三十二百十一小學校
福島第三十二百十二小學校
福島第三十二百十三小學校
福島第三十二百十四小學校
福島第三十二百十五小學校
福島第三十二百十六小學校
福島第三十二百十七小學校
福島第三十二百十八小學校
福島第三十二百十九小學校
福島第三十二百二十小學校
福島第三十二百二十一小學校
福島第三十二百二十二小學校
福島第三十二百二十三小學校
福島第三十二百二十四小學校
福島第三十二百二十五小學校
福島第三十二百二十六小學校
福島第三十二百二十七小學校
福島第三十二百二十八小學校
福島第三十二百二十九小學校
福島第三十三百小學校
福島第三十三百一小學校
福島第三十三百二小學校
福島第三十三百三小學校
福島第三十三百四小學校
福島第三十三百五小學校
福島第三十三百六小學校
福島第三十三百七小學校
福島第三十三百八小學校
福島第三十三百九小學校
福島第三十三百十小學校
福島第三十三百十一小學校
福島第三十三百十二小學校
福島第三十三百十三小學校
福島第三十三百十四小學校
福島第三十三百十五小學校
福島第三十三百十六小學校
福島第三十三百十七小學校
福島第三十三百十八小學校
福島第三十三百十九小學校
福島第三十三百二十小學校
福島第三十三百二十一小學校
福島第三十三百二十二小學校
福島第三十三百二十三小學校
福島第三十三百二十四小學校
福島第三十三百二十五小學校
福島第三十三百二十六小學校
福島第三十三百二十七小學校
福島第三十三百二十八小學校
福島第三十三百二十九小學校
福島第三十四百小學校
福島第三十四百一小學校
福島第三十四百二小學校
福島第三十四百三小學校
福島第三十四百四小學校
福島第三十四百五小學校
福島第三十四百六小學校
福島第三十四百七小學校
福島第三十四百八小學校
福島第三十四百九小學校
福島第三十四百十小學校
福島第三十四百十一小學校
福島第三十四百十二小學校
福島第三十四百十三小學校
福島第三十四百十四小學校
福島第三十四百十五小學校
福島第三十四百十六小學校
福島第三十四百十七小學校
福島第三十四百十八小學校
福島第三十四百十九小學校
福島第三十四百二十小學校
福島第三十四百二十一小學校
福島第三十四百二十二小學校
福島第三十四百二十三小學校
福島第三十四百二十四小學校
福島第三十四百二十五小學校
福島第三十四百二十六小學校
福島第三十四百二十七小學校
福島第三十四百二十八小學校
福島第三十四百二十九小學校
福島第三十五百小學校
福島第三十五百一小學校
福島第三十五百二小學校
福島第三十五百三小學校
福島第三十五百四小學校
福島第三十五百五小學校
福島第三十五百六小學校
福島第三十五百七小學校
福島第三十五百八小學校
福島第三十五百九小學校
福島第三十五百十小學校
福島第三十五百十一小學校
福島第三十五百十二小學校
福島第三十五百十三小學校
福島第三十五百十四小學校
福島第三十五百十五小學校
福島第三十五百十六小學校
福島第三十五百十七小學校
福島第三十五百十八小學校
福島第三十五百十九小學校
福島第三十五百二十小學校
福島第三十五百二十一小學校
福島第三十五百二十二小學校
福島第三十五百二十三小學校
福島第三十五百二十四小學校
福島第三十五百二十五小學校
福島第三十五百二十六小學校
福島第三十五百二十七小學校
福島第三十五百二十八小學校
福島第三十五百二十九小學校
福島第三十六百小學校
福島第三十六百一小學校
福島第三十六百二小學校
福島第三十六百三小學校
福島第三十六百四小學校
福島第三十六百五小學校
福島第三十六百六小學校
福島第三十六百七小學校
福島第三十六百八小學校
福島第三十六百九小學校
福島第三十六百十小學校
福島第三十六百十一小學校
福島第三十六百十二小學校
福島第三十六百十三小學校
福島第三十六百十四小學校
福島第三十六百十五小學校
福島第三十六百十六小學校
福島第三十六百十七小學校
福島第三十六百十八小學校
福島第三十六百十九小學校
福島第三十六百二十小學校
福島第三十六百二十一小學校
福島第三十六百二十二小學校
福島第三十六百二十三小學校
福島第三十六百二十四小學校
福島第三十六百二十五小學校
福島第三十六百二十六小學校
福島第三十六百二十七小學校
福島第三十六百二十八小學校
福島第三十六百二十九小學校
福島第三十七百小學校
福島第三十七百一小學校
福島第三十七百二小學校
福島第三十七百三小學校
福島第三十七百四小學校
福島第三十七百五小學校
福島第三十七百六小學校
福島第三十七百七小學校
福島第三十七百八小學校
福島第三十七百九小學校
福島第三十七百十小學校
福島第三十七百十一小學校
福島第三十七百十二小學校
福島第三十七百十三小學校
福島第三十七百十四小學校
福島第三十七百十五小學校
福島第三十七百十六小學校
福島第三十七百十七小學校
福島第三十七百十八小學校
福島第三十七百十九小學校
福島第三十七百二十小學校
福島第三十七百二十一小學校
福島第三十七百二十二小學校
福島第三十七百二十三小學校
福島第三十七百二十四小學校
福島第三十七百二十五小學校
福島第三十七百二十六小學校
福島第三十七百二十七小學校
福島第三十七百二十八小學校
福島第三十七百二十九小學校
福島第三十八百小學校
福島第三十八百一小學校
福島第三十八百二小學校
福島第三十八百三小學校
福島第三十八百四小學校
福島第三十八百五小學校
福島第三十八百六小學校
福島第三十八百七小學校
福島第三十八百八小學校
福島第三十八百九小學校
福島第三十八百十小學校
福島第三十八百十一小學校
福島第三十八百十二小學校
福島第三十八百十三小學校
福島第三十八百十四小學校
福島第三十八百十五小學校
福島第三十八百十六小學校
福島第三十八百十七小學校
福島第三十八百十八小學校
福島第三十八百十九小學校
福島第三十八百二十小學校
福島第三十八百二十一小學校
福島第三十八百二十二小學校
福島第三十八百二十三小學校
福島第三十八百二十四小學校
福島第三十八百二十五小學校
福島第三十八百二十六小學校
福島第三十八百二十七小學校
福島第三十八百二十八小學校
福島第三十八百二十九小學校
福島第三十九百小學校
福島第三十九百一小學校
福島第三十九百二小學校
福島第三十九百三小學校
福島第三十九百四小學校
福島第三十九百五小學校
福島第三十九百六小學校
福島第三十九百七小學校
福島第三十九百八小學校
福島第三十九百九小學校
福島第三十九百十小學校
福島第三十九百十一小學校
福島第三十九百十二小學校
福島第三十九百十三小學校
福島第三十九百十四小學校
福島第三十九百十五小學校
福島第三十九百十六小學校
福島第三十九百十七小學校
福島第三十九百十八小學校
福島第三十九百十九小學校
福島第三十九百二十小學校
福島第三十九百二十一小學校
福島第三十九百二十二小學校
福島第三十九百二十三小學校
福島第三十九百二十四小學校
福島第三十九百二十五小學校
福島第三十九百二十六小學校
福島第三十九百二十七小學校
福島第三十九百二十八小學校

公認競馬場
阿武隈川
弁天山
球兵場
師範學校
中町
大町
新町
宮町
仲間町
北町
上町
荒町
杉妻町
信夫山公園
羽黒山
福島縣廳
高等商業學校
福島第一小學校
福島第二小學校
福島第三小學校
福島第四小學校
福島第五小學校
福島小林區署
福島地方裁判所
福島公會堂圖書館
福島市赤十字社支部
愛國婦人會
福島成蹊女學校


公認競馬場
仲間町
北町
宮町
上町
弁天町
田町
師範學校
知事官舍
育兒院
地藏堂
神明神社
水雲神社
東照神社
稱名寺
佛願寺
墓地
村中
至

186
184


Kodak Gray Scale
C Y M
© Kodak, 2007 TM: Kodak
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19
inches 1 2 3 4 5 6 7 8
cm 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19
Kodak Color Control Patches
© Kodak, 2007 TM: Kodak
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black